

第五次子どもプラン武蔵野 令和 6 年度施策実施状況報告書(最終報告)

- ①第五次子どもプラン武蔵野評価・点検シート
- ②令和 6 年度子育て支援サービス等の実績

第五次子どもプラン武蔵野評価・点検シート【凡例】

○施策の方向性（子どもプランより）

子どもプランの各施策に記載されている「施策の方向性」が引用されています。

施策全体の進捗状況（担当：〇〇課）

令和6年度の実績評価

「施策の方向性」に記載された内容について当該年度の実績評価を記載しています。

①中間報告：11月末時点の年度実績見込み ②最終報告：最終的な年度実績【完成】

重点事業の実施状況

No. ○○○○○○

【事業の目的】

所管課		〇〇課	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予定・目標			【予定・目標】重点事業の予定・目標を記載しています。				
評価・課題	評価		【評価】◎：予定通りまたは目標達成 ○：おおむね予定通りだが課題はある △：実施方法の見直しが必要 －：当該年度実績なし				
	評価理由・課題		【評価理由・課題】重点事業の当該年度の評価理由・課題を記載しています。				

個別事業の実施状況（※特記すべき内容があれば記載）

事業名		所管課	特記事項
No.○	○○○○○○○	○○課	特記事項がある事業のみ記載しています。 ①中間報告:11月末時点の年度実績見込み ②最終報告:最終的な年度実績【完成】

目 次

基本施策	施策番号	施策名	ページ
1 子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり	1-1	子どもと子育て家庭を包括的に支援する体制の整備	1
	1-2	それぞれの環境に応じたきめ細かな子ども・子育て家庭への支援	6
	1-3	児童虐待の未然防止と対応力の強化	11
	1-4	妊娠期からの母子保健（ゆりかごむさしの）事業の推進	12
2 安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援	2-1	多様な主体による子育て支援の充実と連携の強化	14
	2-2	希望する保育施設に入所できる施策等の推進と保育の質の確保・向上	15
	2-3	地域子ども館事業の充実	20
	2-4	子どもの医療費助成の拡充	21
	2-5	ライフステージの特性に応じた食育の推進	22
	2-6	子ども・子育て支援施設のあり方検討	23
3 子どもと子育て家庭を地域社会全体で応援する施策の充実	3-1	まちぐるみで子どもと子育てを応援する事業の推進	26
	3-2	保育人材等の確保と育成	27
	3-3	子ども・子育てを支える地域の担い手の育成	28
	3-4	子どもに安全・安心なまちづくり	29
4 子どもの「生きる力」を育む	4-1	「生きる力」を育む幼児教育の振興	30
	4-2	青少年健全育成事業の充実	31
	4-3	子どもの体験・学習機会の充実	33
	4-4	全ての学びの基盤となる資質・能力の育成	34
	4-5	多様性を認め合い市民性を育む教育	36
	4-6	一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援の充実	39
	4-7	不登校対策の推進と教育相談の充実	40
5 教育環境の充実と学校施設の整備	5-1	教育力の向上をもたらす教職員の働き方の追求	41
	5-2	質の高い教育を維持するための人材の確保と育成	43
	5-3	学校と地域との協働体制の充実	44
	5-4	学校改築の着実な推進と安全・安心かつ適切な施設環境の確保	45

（参考）第五次子どもプラン武蔵野施策体系図（事業一覧）

（参考）令和6年度子育て支援サービス等の実績

第五次子どもプラン武蔵野評価・点検シート

基本施策1 子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり

【施策1－1】子どもと子育て家庭を包括的に支援する体制の整備

○施策の方向性（子どもプランより）

<p>全ての子どもの個性が尊重され、健やかな成長・発達ができるよう、子どもの権利を守り、子どもと子育て家庭を切れ目なく支援するための施策を推進します。</p> <p>これまでの産前・産後支援の取組みに加えて、妊娠期からの切れ目ない支援・相談体制として、保健・医療・福祉・教育等の関係機関の連携により、子どもと子育て家庭を包括的に支援する体制を整備します。</p> <p>みどりのこども館については、国の構造改革特区を活用して児童発達支援センターとして位置付け、それぞれの子どもの発達段階に応じた支援体制を強化します。</p> <p>関係部署による機能連携の評価・検証を行い、多様な部門間における情報共有とより高度な連携体制を構築するために、子どもと子育て家庭への支援に関する新たな複合施設の必要性について検討を行います。</p>
--

施策全体の進捗状況（担当：子ども子育て支援課・障害者福祉課）

令和6年度の実績評価

令和6年度より子ども家庭支援センターと健康課母子保健係が機能として一体化し、こども家庭センターとなった。児童福祉及び母子保健の一体的支援体制、市民ニーズに合ったサポート方法の検討のほか、保健センター増築及び複合施設整備に向けた検討も行った。

0123施設及び児童館を、こども家庭センターと連絡・調整を行う地域子育て相談機関として設定し、相談体制に関する検討を行った。

子どもと子育て家庭の中心であるこども家庭センター・地域子育て相談機関・児童発達支援センター・教育支援センターの合同研修を開催し、日常的に連携していくための基盤を強化した。

母子保健と子育て支援の両分野が連携し、妊娠期から一体的に支援していくために、こうのとり学級の2日目を0123施設及び児童館で実施した。また、3・4か月児健診時に子育てひろばおでかけmapを配布し、子育てひろばにつなぐ取り組みを行った。児童福祉法等改正に伴い、新たに親子関係形成支援事業を開始し、0123施設でペアレント・トレーニングを実施した。

子どもの権利条例に基づき、4月に子どもの権利擁護委員を委嘱し、10月に子どもの権利擁護センターを開設した。また、リーフレット等の配付、啓発動画の制作・公開、子どもの権利の日イベントを通じて子どもの権利の普及啓発を行った。

重点事業の実施状況

1 子どもと子育て家庭を包括的に支援する体制の整備

【事業の目的】全ての子どもの個性が尊重され、健やかな成長・発達ができるよう、妊娠期から子どもと子育て家庭を切れ目なく支援します。

所管課		障害者福祉課・健康課・子ども子育て支援課・児童青少年課・教育支援課				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予定・目標		<p>①包括的な支援を行うための組織体制をまとめる。</p> <p>②子ども支援連携会議相談支援体制部会において、子どもと子育て家庭を切れ目なく支援していく上で、課題となっている事項について具体的に検討し、必要な調整および作業を行う。</p> <p>③母子保健相談業務システムの構築により母子カードを電子化し、必要時に情報を活用できるようにすることで、総合相談の充実につなげる。</p> <p>④桜堤児童館での利用者支援事業実施に向けた準備を進める。</p>	<p>①令和3年4月に組織改正を行い、相談支援体制を強化した上で、保健・医療・福祉・教育等の関係機関が連携した包括的な支援を行う。</p> <p>②子育て世代包括支援センター設置に伴い、母子保健相談業務システムによる子ども部門との情報連携を開始し、総合的な相談支援を実施する。</p> <p>③桜堤児童館においても、利用者支援事業を実施し、多様な部門との連携を進める。</p>	<p>①3センターの実務者会議を引き続き開催するとともに、年齢や困りごとにより伴走支援する機関が切れることのないよう、体制や仕組みについて検討する。</p> <p>②子育て家庭のニーズに合わせて適切な支援やサービスにつないでいけるよう、利用者支援事業（基本型・特定型・母子保健型）の実務担当者会議等により情報共有や意見交換を重ね、事業や部門等を超えて市全体でサポートできるよう連携を進める。</p>	<p>①保健センター増築及び複合施設整備に向けた「子どもと子育て支援のあり方の検討」において、分野を超えて市全体で支援していくために必要な体制や仕組みについて検討する。</p> <p>②令和6年度の法改正に伴い必要な対応をふまえた上で、母子保健及び児童福祉の一体的支援のための仕組みづくりを検討する。</p>	<p>①引き続き、分野を超えて市全体で支援していくために必要な体制や仕組みについて検討する。</p> <p>②令和6年度の法改正に伴いこども家庭センターを整備すると共に、地域子育て相談機関との連携を進める。</p>
評価・課題	評価	◎	◎	◎	◎	◎
	評価理由・課題	<p>①組織改正の内容を確定した。</p> <p>②連携のために必要なツールの作成及び研修の実施準備等、一定の着手・準備を行った。</p> <p>③令和2年10月より新規端末を配置し、テスト環境での検証を実施。令和3年1月にデータ移行及び操作研修(2回)を実施し、2月から運用開始した。</p> <p>④桜堤児童館として、利用者支援担当者会議に出席するとともに、地域の市民団体により隔月で運営される西部コミセンおやこひろばへも館員を派遣し、地域連携を進めた。</p>	<p>①3センターの実務者による合同連絡会を定期的に開催し、日常の連携を円滑に進めるための意見交換等を行った。</p> <p>②③「子育て世代包括支援センター（連携型）の設置に伴い、利用者支援事業（基本型・特定型・母子保健型）の実務担当者会議等を定期開催し、機関間の連携による支援体制を強化した。</p> <p>地域子育て支援拠点（子育てひろば）へ母子保健担当の保健師が定期訪問し、数居の低い場所で相談を受けるとともに、適切に支援につなぐためのサポートを行った。</p> <p>母子保健相談業務システムによる子ども部門との情報連携を開始し、総合的な相談支援を実施した。</p>	<p>①3センターの実務者会議を開催し、子どもと子育て家庭の支援のあり方について意見交換を行った。</p> <p>②利用者支援事業担当者による情報交換会及び事例検討等を行い、必要な支援に適切につなぐための対応力向上を図った。</p>	<p>①保健センター増築及び複合施設整備に向けた「子どもと子育て支援のあり方の検討」において、分野を超えて市全体で支援していくために必要な体制や仕組みについて検討した。</p> <p>②令和6年度の法改正に伴い必要な対応をふまえた上で、母子保健及び児童福祉の一体的支援のための仕組みづくりを検討した。</p>	<p>①保健センター増築及び複合施設整備に向けた「子どもと子育て支援のあり方の検討」において、分野を超えて市全体で支援していくために必要な体制や仕組みについて検討した。</p> <p>②子ども家庭支援センターと健康課母子保健係が機能として一体化し、こども家庭センターとなった。児童福祉及び母子保健の一体的支援として、サポートプラン作成について検討した。こども家庭センターとの連絡・調整に必要な地域子育て相談機関の相談記録様式について検討し、0123施設及び児童館の様式及び運用を統一した。</p>

2 児童発達支援センターによる子どもの発達支援の強化

【事業の目的】発達に心配のある子どもについて、それぞれの発達段階に応じた適切な支援を受けられるよう、支援体制を強化します。

所管課		障害者福祉課				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予定・目標		国の構造改革特区を活用することでみどりのこども館(ハビット・ウィズ)を児童発達支援センター化する。	児童発達支援センターの機能の1つである相談部ハビットのサテライトオフィス(桜堤)を活用し、相談体制を強化する。	保育所等と連携し、地域における療育体制を強化する。	保育所等と連携し、地域における療育体制を強化する。	①保育所等と連携し、地域における療育体制を強化する。 ②切れ目のない支援を行うための療育に関する相談体制について検討する。
評価・課題	評価	◎	◎	◎	◎	◎
	評価理由・課題	児童発達支援センター化し、相談体制の充実、強化を図った。	相談部ハビットのサテライトオフィス(桜堤)を活用し、相談体制を強化した。	幼稚園等子ども関連施設で巡回相談やスタッフへの助言を行う他、保育士を対象とした発達に関する講習を実施した。	幼稚園等子ども関連施設で巡回相談やスタッフへの助言を行う他、保育士を対象とした発達に関する講習を実施した。	①幼稚園等子ども関連施設で巡回相談やスタッフへの助言を行う他、保育士を対象とした発達に関する講習を実施した。 ②保健センター増築及び複合施設整備に向け、子ども子育て総合相談の相談体制について検討した。

個別事業の実施状況（※特記すべき内容があれば記載）			
事業名		所管課	特記事項
3	子どもの権利条例(仮称)の検討	子ども子育て支援課	子どもの権利条例に基づき、4月に子どもの権利擁護委員を委嘱し、10月に子どもの権利擁護センターを開設した。また、子どもの権利の日イベントとして、主に未就学児～小学生世代とその保護者に向けて、11月にミュージカルの上演とパネル展示等により、子どもの権利について周知啓発を行った(応募者2,575名、当選者1,143名、当日参加者1,026名。)。子どもの権利の普及啓発のため、リーフレット等の広報物・啓発品を作成し、小中高校生世代に配布するとともに、啓発動画を制作・公開した。
5	子ども支援に関する庁内連携の推進	子ども子育て支援課	ヤングケアラーについて、従前の関係機関への周知啓発に加え、児童・生徒向け周知啓発チラシを作成し、一人ひとりに配布、送付した。
6	新たな複合施設の必要性の検討	子ども子育て支援課	妊娠期から切れ目なく子どもと子育て家庭への支援を行う総合拠点として、総合相談窓口のあり方及び保健師の業務について検討した。

参考資料① 子ども・子育て支援に係る相談件数等の推移（施策１－１関連）

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和5年度	令和６年度
妊婦相談・妊婦面接（人）（※１）	873	867	900	1,168	1,165	1,165	1,195	1,161	1,041
子ども家庭支援センター年間相談実件数（件）	1,379	1,412	1,514	1,729	1,677	1,599	1,584	1,615	1,640
健康課専門職相談件数（妊産婦・乳児・幼児）	4,990	5,506	6,507	8,713	8,253	9,680	10,155	10,967	11,454
乳幼児発達相談受診延人数（人）	431	446	573	429	211	301	364	452	516
地域療育相談室ハビット（※２） 継続相談件数（件）	2,023	2,063	2,129	2,083	1,903	2,110	3,311	3,663	3,557
地域療育相談室ハビット（※２） 相談実人数（人）	694	777	833	835	842	858	869	864	865
就学相談受付件数（人）	76	85	95	90	95	117	126	122	144
教育支援センター相談件数（件）	11,773	13,737	13,974	13,767	12,918	15,002	14,864	12,842	14,361
スクールソーシャルワーカー学校派遣依頼件数 （件）	25	28	24	54	124	145	173	227	220

（※１）平成28年度より保健センターに加え、子ども家庭支援センターでも実施

（※２）令和２年度より「武蔵野市児童発達支援センターみどりのこども館・相談部ハビット」に変更

第五次子どもプラン武蔵野評価・点検シート

基本施策1 子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり

【施策1-2】それぞれの環境に応じたきめ細かな子ども・子育て家庭への支援

○施策の方向性（子どもプランより）

子どもの将来が貧困等の環境要因に左右されることがないよう、経済的支援や、教育的支援等、一人ひとりの子どもの状況に応じたきめ細かな支援を実施します。
子どもの貧困対策に関わる関係機関、地域の民間団体の支援活動との連携の仕組みを構築し、複合的な支援を行います。また、利用者が、自身のニーズに合わせてサービスを選択できるような多様な事業のあり方を検討します。
ひとり親家庭が地域で自立し、安定した生活が送れるよう、引き続き経済的支援を行います。
また、子育てと仕事を両立しながら経済的に自立するとともに、子どもが心身ともに健やかに成長できるよう、子育てや生活支援、就業支援、就学支援等を包括的にを行います。

施策全体の進捗状況（担当：子ども子育て支援課）

令和6年度の実績評価

市民社会福祉協議会が中心となり、子どもの居場所活動を行う団体と市のネットワークを促進するとともに、学齢期の子どものサポート情報の広報支援を強化し、子どものニーズに合った多様な居場所づくり環境を整備した。これらの取り組みを通じて、一人ひとりのこどもの状況に応じたきめ細かな支援に努めた。

重点事業の実施状況						
14 子どもの貧困対策の推進						
【事業の目的】子どもの現在及び将来が貧困等の環境要因に左右されることのないよう、関係機関の連携のもと、子どもの貧困対策を総合的に推進します。						
所管課		子ども子育て支援課				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予定・目標		子ども支援連携会議貧困対策部会において、市の子どもの貧困対策事業のあり方について検討する。とくに学習・生活支援事業のあり方を議論する。	①市民社会福祉協議会に業務委託し、子どもの貧困対策等に関連する民間団体と、関係機関とのネットワークづくりを推進し、民間団体の運営支援等を行う。 ②引き続き市の子どもの貧困対策のあり方について検討を進める。	子どもの貧困対策等に関連する民間団体が行う居場所活動の推進に必要な社会資源の発掘及びコーディネート機能を強化するとともに、SNS等の効果的な広報を展開し、子ども及び支援者への積極的な周知をすすめる。	市民社協のネットワーク活動等を通じて子どもの居場所の支援状況等を把握するとともに、市のサポートのあり方について検討を行う。 SNSやホームページ等を通じた効果的な情報発信のあり方を検討し、子ども及び支援者への周知を強化する。	引き続き、市民社協のネットワーク活動等を通じて子どもの居場所の支援状況等を把握するとともに、関係機関との連携や市のサポートのあり方について検討を行う。 SNS等を通じた効果的な情報発信のあり方を検討し、子ども及び支援者への周知を強化する。
評価・課題	評価	○	○	○	○	○
	評価理由・課題	①コロナ禍を受け、市の支援情報をまとめたリーフレットについて、市報・HP等で周知を行った。 ②市内の学習・生活支援事業実施団体、子ども・コミュニティ食堂実施団体と、市関係機関のオンライン連絡会を開催し、情報共有・意見交換等を行った。 ③今後の各民間団体との連携のあり方を検討し、令和3年度以降、市民社会福祉協議会を中心とした地域ネットワークづくりを進めていく方向性を確認した。 ④市が行う学習・生活支援事業のあり方については、今後継続して検討を進める必要がある。	①市民社会福祉協議会を窓口とし、子どもの居場所活動等を行う民間団体とのネットワークを構築し、連絡会及び研修を実施した。 ②民間団体の居場所ガイドを作成及び支援者および公立小中学校の児童生徒等に配付を行うとともに、市民社協のホームページに情報を集約し、広報面での支援を強化した。 ③民間団体の活動場所や人材の発掘・育成等の環境整備について具体的に検討を進める必要がある。	市民社会福祉協議会が中心となり子どもの居場所活動団体及び市との連絡会・研修等を開催し、居場所の実態等を共有した。 子どものサポート情報をまとめたガイド「むさしの子ども応援ブック」を作成・配付し、学齢期の子どものサポート情報の周知を強化した。 ヤングケアラーの支援等に関する研修を行い、居場所から市の支援につなぐための連携強化を図った。 SNS等を用いた伝わりやすく集約性のある情報発信については引き続き検討が必要である。	市民社協のネットワーク活動等を通じて子どもの居場所の支援状況等を把握するとともに、市のサポートのあり方について検討を行った。 これまで別々だった子ども・コミュニティ食堂及び学習支援のリーフレットをひとつにまとめ、効果的な広報を行った。 市民社協のホームページに子ども食堂及び学習支援の場の地図を掲載した。 SNS等を用いた伝わりやすく集約性のある情報発信については引き続き検討が必要である。	ネットワーク連絡会を通じて、団体の活動状況や課題、子ども・コミュニティ食堂及び学習支援の場を利用する子どもの状況を把握し、関係機関との連携や市のサポートのあり方について検討を行った。 SNS等を用いた伝わりやすく集約性のある情報発信については引き続き検討が必要である。
個別事業の実施状況（※特記すべき内容があれば記載）						
事業名		所管課	特記事項			
22	市民社協による経済的支援の実施	地域支援課	むさしのジャンボリー参加費支給については、現地（長野県川上村）での熊出没の影響に伴い、武蔵野市及び青少協によるむさしのジャンボリー事業が中止となったため、各青少協地区主導で実施する「むさしのジャンボリー代替イベント」に対する助成を行った。			

参考資料② 子どもの貧困対策に係る事業実施状況（施策１－２関連）

所管課	事業名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
生活福祉課	生活困窮・生活保護等相談	954件（生活困窮322件、生活保護632件）	876件（生活困窮313件、生活保護563件）	1,008件（生活困窮377件、生活保護631件）	993件（生活困窮367件、生活保護626件）	2,001件（生活困窮1,341件、生活保護660件）	1,513件（生活困窮894件、生活保護619件）	1,415件（生活困窮631件、生活保護784件）	934件（生活困窮388件、生活保護546件）	979件（生活困窮314件、生活保護665件）
	生活保護世帯	1,635世帯	1,609世帯	1,651世帯	1,659世帯	1,682世帯	1,667世帯	1,667世帯	1,655世帯	1,668世帯
	生活困窮者学習支援事業	11人（生保10・困窮1）	10人（生保8・困窮2）	35人（生保8・困窮6・児扶21）	38人（生保14・困窮7・児扶17）	32人（生保11・困窮5・児扶16）	26人（生保11・困窮3・児扶12）	24人（生保10・困窮5・児扶9）	27人（生保11・困窮4・児扶12）	17人（生保6人、困窮4人、児扶7人）
子ども子育て支援課	産前・産後支援ヘルパー	372件	334件	373件	352件	236件	347件	322件	370件	347件
	子育てショートステイ	60泊	67泊	51泊	164泊	89泊	129泊	172泊	165泊	179泊
	ひとり親家庭支援ホームヘルプサービス	33世帯	32世帯	28世帯	23世帯	26世帯	18世帯	20世帯	20世帯	21世帯
	母子・女性緊急一時保護	6世帯7人	5世帯8人	6世帯11人	8世帯12人	13世帯17人	1世帯1人	1世帯1人	2世帯3人	4世帯8人
	母子生活支援施設	1世帯2人	2世帯5人	0世帯0人	1世帯2人	5世帯10人	6世帯12人	5世帯10人	1世帯5人	3世帯10人
	母子・父子自立支援プログラム策定	22人 （及びアフターケア16人）	25人 （及びアフターケア17人）	14人 （及びアフターケア15人）	4人 （及びアフターケア6人）	5人 （及びアフターケア2人）	1人 （及びアフターケア2人）	6人 （及びアフターケア1人）	6人 （及びアフターケア6人）	9人 （及びアフターケア1人）
	高等職業訓練促進給付金	4件	3件	6件	0件	2件	0件	0件	2件	3件
	自立支援教育訓練給付金	1件	2件	1件	2件	0件	3件	1件	0件	2件
	ひとり親家庭総合相談会		18人	19人	16人		15人	13人	8人	10人
	ライフプラン講座		11人	31人						
	シングルマザー座談会		21人	10人	3人					
	児童手当	受給者6,735人	受給者6,873人	受給者6,957人	受給者6,832人	受給者6,862人	受給者6,846人	受給者6,614人	受給者6,299人	受給者12,535人
	児童扶養手当	456世帯	433世帯	434世帯	453世帯	446世帯	436世帯	430世帯	415世帯	419世帯
	児童育成手当	児童884人	児童855人	児童872人	児童894人	児童904人	児童896人	児童857人	児童860人	児童855人
	乳幼児、義務教育就学児、高校生等医療費助成	児童17,434人	児童17,702人	児童18,018人	児童18,190人	児童18,365人	児童18,480人	子ども21,791人	子ども21,550人	子ども21,392人
	ひとり親家庭等医療費助成	469世帯	451世帯	478世帯	509世帯	511世帯	513世帯	514世帯	438世帯	455世帯

	生活困窮・生活保護等相談	954件（生活困窮322件、生活保護632件）	876件（生活困窮313件、生活保護563件）	1,008件（生活困窮377件、生活保護631件）	993件（生活困窮367件、生活保護626件）	2,001件（生活困窮1,341件、生活保護660件）	1,513件（生活困窮894件、生活保護619件）	1,415件（生活困窮631件、生活保護784件）	934件（生活困窮388件、生活保護546件）	979件（生活困窮314件、生活保護665件）
子ども子育て支援課	ひとり親家庭等住宅費助成	受給者161人	受給者160人	受給者154人	受給者156人	受給者157人	受給者152人	受給者152人	受給者156人	受給者143人
	母子及び父子福祉資金貸付	66件	51件	41件	29件	21件	12件	7件	5件	6件
	ひとり親家庭訪問型学習・生活支援事業			10人	10人	10人	13人	15人	15人	11人
子ども子育て支援課	子ども・コミュニティ食堂運営費補助事業					2団体	2団体	2団体	3団体	6団体
	「子どもの食の確保」緊急対策事業					4団体	0（国事業終了のため）	0（国事業終了のため）	0（国事業終了のため）	
	子育て世帯臨時特別給付金事業					7,458世帯（児童11,295人）				
	ひとり親家庭等支援臨時給付金事業					751世帯（児童968人）				
	ひとり親等世帯臨時特別給付金事業					1,503世帯				
	低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）								496世帯（児童684人）	
	低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親以外の子育て世帯分）								738世帯（児童1,180人）	
	子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）						489世帯（児童658人）	475世帯（児童654人）		
	子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親以外の子育て世帯分）						723世帯（児童1,153人）	682世帯（児童1,086人）		
	子ども子育て支援特別給付金						762世帯（児童769人）			
	子育て世帯等臨時特別支援事業（子育て世帯への臨時特別給付金）						8,248世帯（児童12,594人）		1,192世帯（児童1,805人）	
児童青少年課	学童クラブ減免	38世帯39人	38世帯39人	41世帯41人	27世帯30人	38世帯39人	50世帯52人	33世帯39人	29世帯34人	24世帯27人
	若者サポート事業	延べ211人	延べ311人	延べ1,409人	延べ1,750人	延べ758人	延べ998人	延べ1393人	延べ802人	延べ1033人
教育支援課	就学援助費の給付（小学校）	459人	500人 <small>※新入学学用品費の入学前支給者含む</small>	565人 <small>※新入学学用品費の入学前支給者含む</small>	588人 <small>※新入学学用品費の入学前支給者含む</small>	632人 <small>※新入学学用品費の入学前支給者含む</small>	622人 <small>※新入学学用品費の入学前支給者含む</small>	563人 <small>※新入学学用品費の入学前支給者含む</small>	537人 <small>※新入学学用品費の入学前支給者含む</small>	547人 <small>※新入学学用品費の入学前支給者含む</small>
	特別支援教育就学奨励費の給付（小学校特別支援学級）	24人	25人	37人	37人	39人	37人	36人	29人	30人
	就学援助費の給付（中学校）	281人	335人 <small>※新入学学用品費の入学前支給者含む</small>	376人 <small>※新入学学用品費の入学前支給者含む</small>	373人 <small>※新入学学用品費の入学前支給者含む</small>	381人 <small>※新入学学用品費の入学前支給者含む</small>	387人 <small>※新入学学用品費の入学前支給者含む</small>	368人 <small>※新入学学用品費の入学前支給者含む</small>	346人 <small>※新入学学用品費の入学前支給者含む</small>	311人 <small>※新入学学用品費の入学前支給者含む</small>
	特別支援教育就学奨励費の給付（中学校特別支援学級）	8人	7人	12人	14人	9人	9人	5人	9人	11人
	高等学校等修学支援事業	入学準備金80人	入学準備金98人 修学給付金256人	入学準備金111人 修学給付金261人	入学準備金109人 修学給付金247人	入学準備金119人 修学給付金272人	入学準備金109人 修学給付金252人	入学準備金104人 修学給付金243人	入学準備金93人 修学給付金263人	入学準備金100人 修学給付金234人
市民社会福祉協議会	ジャンボリー参加費支給事業	15件	14件	13件	17件	0件	0件	0件	9件	5件
	小学校入学祝金支給事業	21人	15人	7人	5人	11人	7人	18人	11人	
	高校生教材代支給事業	延べ173件	延べ180件	延べ215件	延べ222件	延べ152件	延べ166件	92件	88件	86件

	生活困窮・生活保護等相談	954件（生活困窮322件、生活保護632件）	876件（生活困窮313件、生活保護563件）	1,008件（生活困窮377件、生活保護631件）	993件（生活困窮367件、生活保護626件）	2,001件（生活困窮1,341件、生活保護660件）	1,513件（生活困窮894件、生活保護619件）	1,415件（生活困窮631件、生活保護784件）	934件（生活困窮388件、生活保護546件）	979件（生活困窮314件、生活保護665件）
市民社会福祉協議会	受験生チャレンジ支援貸付事業	学習塾34件 受験料33件	学習塾57件 受験料58件	学習塾47件 受験料49件	学習塾41件 受験料45件	学習塾43件 受験料46件	学習塾30件 受験料 28件	学習塾49件 受験料50件	学習塾37件 受験料35件	学習塾10件 受験料4件
	入学資金貸付事業	1件	0件	0件	0 件	0件	0件	0件	0件	0件
	交通遺児家庭援護費支給事業	0人	0人	0人	0 人	0人	－	－	－	－
	生活福祉資金貸付事業	127件	91件	95件	77件	2,529件 （うち特例貸付2,458件）	1,117件 （うち特例貸付1,070件）	180件 （うち特例貸付143件）	24件	10件
	生活資金貸付事業	1件	0件	0件	0 件	0件	0件	0 件	0件	0件

第五次子どもプラン武蔵野評価・点検シート

基本施策1 子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり

【施策1－3】児童虐待の未然防止と対応力の強化

○施策の方向性（子どもプランより）

児童虐待・養育困難家庭に対する支援について、相談体制をさらに強化するため、子育て支援ネットワークにおける情報共有を行いながら、関連する各種機関間の連携を強化し、支援の充実を図ります。また、児童虐待を未然防止するための啓発活動等を引き続き行っていくとともに、それでも児童虐待は起こり得るという認識のもと、対応力を強化します。

施策全体の進捗状況（担当：子ども子育て支援課）
令和6年度の実績評価
児童福祉法改正に伴い、養育支援訪問事業のうち家事・育児支援を子育て世帯訪問支援事業、専門相談による支援を養育支援訪問事業として整理した。子育て世帯訪問支援事業について、事業者の新規開拓も含め、緊急時に市民が利用しやすい仕組みを検討した。

重点事業の実施状況						
27 児童虐待・養育困難家庭への支援の強化						
【事業の目的】児童相談所をはじめとした関係機関との連携を深め、虐待通告への対応、児童虐待が認められる家庭及び児童の養育が困難な家庭への支援並びに児童虐待を未然に防止するための啓発活動を行い、子どもの健やかな成長を支援します。						
所管課		子ども子育て支援課				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予定・目標		関係機関のさらなる加入により子育て支援ネットワークを拡充する。支援が必要な家庭への対応と虐待防止の普及啓発を行う。	関係機関のさらなる加入により子育て支援ネットワークを拡充する。支援が必要な家庭への対応と虐待防止の普及啓発を行う。	要保護児童等に関する情報共有システムの導入により関係機関の連携を強化する。支援が必要な家庭への対応と虐待防止の普及啓発を行う。	児童福祉法改正に向けて養育支援訪問事業の再編準備を行う。支援が必要な家庭への対応と虐待防止の普及啓発を行う。	子育て支援ネットワークにおける連携を強化するとともに、新規事業の実施状況も踏まえながら、子どもと子育て家庭への支援のあり方について検討する。支援が必要な家庭への対応と虐待防止の普及啓発を行う。
評価・課題	評価	◎	◎	◎	◎	◎
	評価理由・課題	ネットワークが拡充されるとともに、児童虐待が認められる家庭と養育困難家庭への対応を行った。	ネットワークが拡充されるとともに、児童虐待が認められる家庭と養育困難家庭への対応を行った。	ネットワークが拡充されるとともに、児童虐待が認められる家庭と養育困難家庭への対応を行った。また、要保護児童等に関する情報共有システムの導入により関係機関の連携を強化した。	児童福祉法改正に向けて養育支援訪問事業の再編準備を行った。支援が必要な家庭への対応と虐待防止の普及啓発を行った。	児童福祉法改正による養育支援訪問事業を再編するとともに、サポートプランを試行実施した。支援が必要な家庭への対応と虐待防止の普及啓発を行った。

第五次子どもプラン武蔵野評価・点検シート

基本施策1 子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり

【施策1－4】妊娠期からの母子保健（ゆりかごむさしの）事業の推進

○施策の方向性（子どもプランより）

<p>妊娠・出産・子育てをする人が、安心して地域で生活できるよう、妊娠期から切れ目なく支援します。</p> <p>子どもの成長に継続的に寄り添い、適切な情報を適切な時期に提供し、市民が安心して相談できるように努めます。</p> <p>こんにちは赤ちゃん訪問、乳幼児健康診査等、ほぼ全員に会うことができる強みを活かして、それぞれの家庭の状況を把握し、寄り添う支援を充実させます。</p> <p>従来の個別支援とあわせて、多くの妊婦や子どもと接することのできる、こうのとり学級、乳幼児健康診査、育児学級等の機会を活かし、子どもの発達や子育ての見通しを伝えるなど、集団への働きかけを拡充します。</p> <p>また、親同士が地域で子育ての不安や悩みを語り合い解決する力をつけられるよう、子育ての仲間づくりを促すような事業を展開します。</p> <p>令和元年度から開始した産後ケア（宿泊型・日帰り型・訪問型）事業については、利用実績を踏まえ、拡充について検討します。</p>
--

施策全体の進捗状況（担当：健康課）
令和6年度の実績評価
「産後ケア事業」については、利用者負担の減免支援を拡充するため課税世帯へのクーポンの配付を開始した。また、市内5事業者を中心に利用者のニーズに応えることができた。低所得の妊婦に対する初回産科受診料助成を開始した。
「出産・子育て応援事業」の実施により、妊娠中から出産・子育て期まで安心して過ごせるよう、伴走型相談支援、経済的支援を一体的に行い、必要な支援に繋ぐことができた。子育て家庭への支援として、都の事業を活用し、「育児パッケージ配布」「パースデーサポート事業」及び「多胎児移動経費補助」を実施した。
こうのとり学級（土曜日クラス）を地域子育て支援施設と共催し、妊娠期から出産後の地域で子育てをするイメージづくりや参加者同士のつながり・仲間づくりを支援した。

重点事業の実施状況						
35 産後ケア（宿泊型・日帰り型）事業						
【事業の目的】出産後に家族等から支援を受けることが困難で、育児支援を必要とする母子に対し、心身のケア及び育児の支援、その他母子の健康の維持及び増進に必要な支援を実施することにより、産後安心して子育てができる支援体制を確保し、母子等の心身の健康の保持増進を図ります。						
所管課		健康課				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予定・目標		産後早期のサポートが必要な方の登録者数を増やす。令和3年度に向けて、利用しやすいように事業の拡充について検討する。	事業の拡充による利用者ニーズへの対応を行う。 (宿泊型における1泊2日利用の開始/多胎児利用可能日数の増/早産児に対する利用期間の延長)	事業の拡充による利用者ニーズへの対応を行う。 (市外施設の利用/対象期間の延長/訪問型の導入)	事業の拡充による利用者ニーズへの対応を行う。 (市内施設の運営・整備等に対する支援/市外施設の利用)	クーポンの配付を開始し、利用者負担の軽減を図る。利用者が安心して利用できるよう、事業者向けの安全講習会を実施する。
評価・課題	評価	◎	◎	○	◎	◎
	評価理由・課題	①きめ細かく事前の周知を行ったことで登録者数・利用者数ともに増加した。(登録者数299人、利用延日数:日帰り438日、宿泊98日) ②委託業者と連携会議での検討及び研修を実施した(連携会議2回、従事者研修1回)	①きめ細かく事前の周知を行ったことで登録者数・利用者数ともに増加した。登録者数346人、利用延日数:日帰り432日、宿泊138日(令和4年1月27日現在) ②委託業者と連携会議での検討及び研修を実施した(連携会議2回、従事者研修1回)	①市外施設への展開、対象月齢の延長、訪問型の開始(令和4年7月～)により、利用者ニーズに対応することができた。登録者数384人、利用延日(回)数:宿泊型199日、日帰り型48日、訪問型112回 ②3月に従事者研修を開催 ③市内施設については新型コロナウイルス感染症対応等により、一時休止中であり、利用者ニーズへの対応が必要となっている。	①市内2施設の新規開設、一時休止中であった市内2施設の再開により、利用者へのニーズに対応することができた。登録者数733人、利用延日(回)数:宿泊型271日、日帰り型607日、訪問型111回 ②5月に産後ケア事業安全管理マニュアルを策定した。 ③7月と11月に産後ケア事業安全講習会を実施した。 ④2月に従事者研修を実施した。	①住民税課税世帯への利用料減免を目的としたクーポン(2,500円×5回分)の配付を開始し、利用者負担の軽減を図った。登録者数890人、利用延日(回)数:宿泊型413日、日帰り型1360日、訪問型373回。 ②令和7年1月に従事者研修を実施した。 ③6月と10月に産後ケア事業安全講習会を実施した。 ④令和7年1月より、支援の必要性の高い産婦を受け入れた事業者に対して、ハイリスク加算を開始した。

個別事業の実施状況（※特記すべき内容があれば記載）		
事業名	所管課	特記事項
33 妊婦に対して健康診査を実施する事業(妊婦健診)	健康課	令和6年10月1日より、都内一部の助産所でも妊婦健康診査受診票の使用が可能となった。
41 ゆりかごむさしのフェスティバル	健康課	令和6年11月9日に、保健センターにて開催した。
42 育児学級(離乳食教室・健診後フォロークラス)	健康課	離乳食教室:新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた試食と、参加者同士の交流を再開した。
43 ベビーサロン(赤ちゃん相談室)	健康課	令和3年度から令和5年度までは新型コロナウイルス感染症への対応のため、定員を設けて予約制としていたが、令和6年度より自由来所制とした。

第五次子どもプラン武蔵野評価・点検シート

基本施策2 安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援

【施策2－1】多様な主体による子育て支援の充実と連携の強化

○施策の方向性（子どもプランより）

多様な子育て支援ニーズに対応するため、地域の子育て支援に関わる施設や団体が連携し、子育てひろばをはじめとした、多様な主体による子育て支援を充実させます。「子育て世代包括支援センター」を市の子育て支援の中心と位置づけ、子どもと子育て家庭に対する相談支援体制を充実させるとともに、子育て支援アドバイザーを活用した市全体のネットワークづくりを推進します。また、地域の子育て支援の核となる利用者支援事業を、既存の0123施設に加え、桜堤児童館でも新たに実施し、市内三駅圏ごとの連携を強化します。子育て中の家庭が、必要な情報を必要な時に得ることができ、自ら子育てについて学ぶことができるよう、学びの機会の提供や子ども・子育て情報の発信を充実させます。

施策全体の進捗状況（担当：子ども子育て支援課）
令和6年度の実績評価
<p>利用者支援事業ではほぼ毎月担当者会議を実施し、情報交換や事例検討、ブレインストーミング等を通じてスキルアップを図った。児童福祉法改正により地域子育て相談機関となった0123施設及び児童館と市職員で相談記録様式の検討を行い、3施設の様式及び運用を統一した。また児童福祉法改正に伴い新たに親子関係形成支援事業を開始し、0123施設にてペアレントトレーニングを実施した。</p> <p>地域子育て支援拠点間では定期情報交換会を行い、利用者ニーズに合わせた支援方法を共有した。</p> <p>地域の子育て支援者の養成講座、スキルアップ研修、支援者交流会を開催し、活動のサポートを行った。また、地域の子育て支援団体や関係機関・行政も含めた市内全体のネットワーク連絡会を2回開催し、前期はそれぞれが感じる課題や今後連携してみたいことについて意見交換を行った。後期の連絡会では、吉祥寺・中央・武蔵境の3地区に別れ、保健センター増築及び複合施設整備に関連して、団体支援スペースの活用について話し合った。</p> <p>子育てひろばネットワーク全体研修では、ジェンダーをテーマに子育て支援者が気を付けなければならないことについて学び、スキルアップを図った。</p>

第五次子どもプラン武蔵野評価・点検シート

基本施策 2 安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援

【施策 2－2】希望する保育施設に入所できる施策等の推進と保育の質の確保・向上

○施策の方向性（子どもプランより）

待機児童対策については、希望する保育施設に入所できるよう、地域ごとの保育ニーズを把握し、必要な地域に適切な規模の保育施設を整備していくとともに、認証保育所の認可保育所への移行など既存施設の活用もあわせて検討します。

保育施設の利用者の増加に伴い、病児・病後児保育への利用ニーズも増えていることから、その利便性の向上及び充実のための方法を検討します。

保育の実施責任のある市の責務として、保育アドバイザー等による巡回支援や施設に対する指導検査の強化を図るとともに、既存施設職員向けの実務研修や、新規保育所における開設前研修の実施等を通じて、保育の質の確保・向上を図ります。

施策全体の進捗状況（担当：子ども育成課）

令和 6 年度の実績評価

令和2年度以降、5年連続で待機児童数ゼロを維持・継続することができた。

一方で、未就学児の減少傾向、及び近年の積極的な保育所整備等により、定員に対し余裕が出ている施設等も見られていることに加え、武蔵野市の将来人口推計（令和4(2022)年～令和34(2052)年）において未就学児人口が令和15年まで減少傾向となる見込みであることから、令和7年度当初開設に向けた、待機児童対策を目的とする令和6年度中の保育所整備については休止した。

幼児教育を行う社会資源の維持を図るため、個人立幼稚園の認定こども園への移行支援を行い、保育認定定員9名を新たに設定する幼保連携型認定こども園の開設準備を行った。

指導検査では、検査施設等の種類・件数を拡充し、市全体の保育施設等の運営水準の維持・向上を図った。保育アドバイザーや保育事故防止支援指導員、保育総合アドバイザーの訪問による各保育施設への支援を継続するとともに、総合アドバイザー巡回では対象施設を従来の認可保育所に加えて、地域型保育事業へ拡充し、職員間のコミュニケーション、子どもの人権などについて、相談、助言等の支援を行った。

市内保育施設における不適切な保育等の相談窓口については、対象を保育施設の職員だけではなく、保育施設を利用している子どもの保護者や近隣住民等に拡充し、子どもが安心して保育施設を利用できるよう、不適切な保育を早期に把握する、または未然に防ぐ環境を整備した。

指導検査では、検査施設等の種類・件数を拡充し、市全体の保育施設等の運営水準の維持・向上を図った。

重点事業の実施状況

64 希望する保育施設に入所できる施策の推進

【事業の目的】希望する保育施設に入所できるよう、保育施設の整備等を進めていきます。

所管課		子ども育成課				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予定・目標		子どもプラン等に基づき、必要に応じた保育施設の定員拡大	子どもプラン等に基づき、必要に応じた保育施設の定員拡大	子どもプラン等を基本に、「令和4年度武蔵野市の将来人口推計」等最新のデータを勘案し、必要に応じた保育施設の整備を検討する。	子どもプラン等を基本に、「令和4年度武蔵野市の将来人口推計」等最新のデータを勘案し、必要に応じた保育施設の整備を検討する。	子どもプラン等を基本に、「令和4年度武蔵野市の将来人口推計」等最新のデータを勘案し、必要に応じた保育施設の整備を検討する。
評価・課題	評価	◎	◎	◎	◎	◎
	評価理由・課題	令和2年9月、令和3年4月に2施設、認証保育所から認可保育所への移行を行ったことにより、60人の定員増を実現することができた。	令和4年4月に2施設、認証保育所から認可保育所への移行を行ったことにより、定員を54名拡充し、令和2年4月以降、3年連続で待機児童数ゼロを維持・継続することができた。	待機児童数ゼロを継続する一方で、未就学児の減少傾向、及び近年の積極的な保育所整備等により、認可外保育施設においても定員に余裕が生じ始めており、「令和4年度武蔵野市の将来人口推計」等の最新のデータも勘案し、令和5年度当初開設に向けた令和4年度中の保育所整備については一時休止とした。	待機児童数ゼロを継続する一方で、未就学児の減少傾向、及び近年の積極的な保育所整備等により、認可外保育施設においても定員に余裕が生じ始めており、「令和4年度武蔵野市の将来人口推計」等の最新のデータも勘案し、令和6年度当初開設に向けた令和5年度中の保育所整備については休止した。	待機児童数ゼロを維持する一方で、未就学児の減少傾向が継続し、認可外保育施設だけでなく認可保育施設においても、一部のクラス年齢等に定員に余裕が生じており、令和7年度当初開設に向けた令和6年度中の保育所整備を休止した。 個人立幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行の支援を行い、幼児教育を行う地域の貴重な社会資源の維持を図ることができた。

65 保育の質の維持・向上のための取組み

【事業の目的】 保育の量の充実のために保育施設の整備が進んでいることを受け、保育の質のより一層の充実・向上を図ります。

所管課	子ども育成課				
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予定・目標	①保育のガイドラインの見直し ②地域連携の継続 ③指導検査実施による保育の質の維持向上 ④保育施設におけるリスク予防 ⑤保育アドバイザー等による巡回、様々な研修の実施	①保育のガイドラインに基づく実践の共有 ②地域連携の継続 ③指導検査実施による保育の質の維持向上 ④保育施設におけるリスク予防 ⑤保育アドバイザー等による巡回、各種研修の実施	①保育のガイドラインに基づく実践の共有 ②地域連携の継続 ③指導検査実施による保育の質の維持向上 ④保育施設におけるリスク予防 ⑤保育アドバイザー等による巡回、各種研修の実施	①保育のガイドラインに基づく実践の共有 ②地域連携の継続 ③指導検査実施による保育の質の維持向上 ④保育施設におけるリスク予防 ⑤保育アドバイザー等による巡回、各種研修の実施	①保育のガイドラインに基づく実践の共有 ②地域連携の継続 ③指導検査実施による保育の質の維持向上 ④保育施設におけるリスク予防 ⑤保育アドバイザー等による巡回、各種研修の実施

評価・課題	評価	◎	◎	◎	◎	◎
	評価理由・課題	<p>①保育ガイドラインについて、保育所保育指針の改定、第五次子どもプラン武蔵野の策定等を踏まえた見直しを行った。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症の拡大防止から、各地域ごとに紙面での情報交換を行い、各施設間のつながりをもった。</p> <p>③指導検査の実施により、市全体の保育施設の運営水準の維持・向上を図った。</p> <p>④リスクマネジメント委員会を開催し、ヒヤリハット標準様式の作成等リスク予防について協議した。</p>	<p>①保育のガイドラインに基づく、ガイドライン保育部会を実施し、実践の共有を図った。</p> <p>②昨年度に引き続き、各地域ごとに紙面での情報交換やオンラインを活用した地域連絡会を行い、各施設間のつながりをもった。</p> <p>③指導検査の実施により、市全体の保育施設の運営水準の維持・向上を図った。</p> <p>④任期を令和3年10月から令和6年9月末までとする第3期武蔵野市就学前施設におけるリスクマネジメント委員会を、オンラインによるリモート会議にて2回開催し、保育・保健、栄養・誤食、防災等の観点で、保育施設でのリスクに関する協議と情報の共有を行った。</p>	<p>①保育のガイドラインに基づく、ガイドライン保育部会を実施し、実践の共有を図った。</p> <p>②昨年度に引き続き、各地域ごとに紙面での情報交換やオンラインを活用した地域連絡会を行い、各施設間のつながりをもった。</p> <p>③指導検査の実施により、市全体の保育施設の運営水準の維持・向上を図った。</p> <p>④国からの通知に基づき、市内の幼稚園や保育所等におけるバス送迎に当たっての安全管理について、緊急点検を実施した。また、リスクマネジメント委員会を開催し、保育施設等におけるリスクについて、行政や各施設として注意すべき点などの情報共有、意見交換を行った。</p> <p>令和4年12月に不適切な保育を未然に防ぐために、市に専用の相談窓口を設置し、保育施設における現場の職員が市に直接、連絡、相談できる環境を整備した。</p>	<p>①保育のガイドラインに基づく、ガイドライン保育部会を実施し、実践の共有を図った。</p> <p>子どもの権利条例の制定に伴い、保育のガイドラインの内容の見直しを行った。</p> <p>②昨年度に引き続き、各地域ごとに情報交換や地域連絡会を行い、各施設間のつながりをもった。</p> <p>③指導検査の実施により、市全体の保育施設の運営水準の維持・向上を図った。</p> <p>④リスクマネジメント委員会を開催し、保育施設等におけるリスクについて、行政や各施設として注意すべき点などの情報共有、意見交換を行った。</p> <p>不適切な保育に関する専用の相談窓口を引き続き設置し、保育施設における現場の職員が市に直接、連絡、相談できる環境を確保した。</p>	<p>①保育のガイドラインに基づく、ガイドライン保育部会を実施し、実践の共有を図った。保育のガイドライン保育部会について、今後、効果的な実践の共有を検討する。</p> <p>②昨年度に引き続き、各地域ごとに情報交換や地域連絡会を行い、各施設間のつながりをもった。</p> <p>③指導検査の実施により、市全体の保育施設等の運営水準の維持・向上を図った。令和6年度は、検査施設等の種類・件数を拡充し、特定子ども・子育て支援施設のうち、新制度未移行幼稚園、病児保育事業、子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)等の検査を新規に実施した。</p>

評価・課題	評価理由・課題	<p>⑤新規園等に開設前研修を行うことにより、武蔵野市で保育所を運営する自覚と責任を理解してもらった。保育総合アドバイザー、保育相談員、保育アドバイザー巡回は、各施設と相談しつつ、新型コロナウイルス感染症の拡大予防を十分したうえで実施した。また、各種研修はリモート開催も取り入れ実施した。</p>	<p>⑤認証認可化による令和4年4月開設2園に対し、開設後の円滑な施設運営を実現すること、及び武蔵野市で保育所を運営する自覚と責任を理解してもらうことを目的に、令和4年2月に2日間の日程で開設前研修(講義編)を行った。新型コロナウイルス感染症の急激な拡大状況を鑑みて、全講義をリモートにて実施した。本研修の他、4月に武蔵野市内公立園において研修(実習編)を行った。</p>	<p>⑤保育アドバイザーや保育事故防止支援指導員の巡回は、各施設と相談しつつ、新型コロナウイルス感染症の拡大予防を十分したうえで実施した。また、総合アドバイザー巡回では、職員間のコミュニケーション、子どもの人権などについて、相談、助言等の支援を行った。また、各種研修はリモート開催も取り入れ実施した。</p>	<p>⑤新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、保育アドバイザーや保育事故防止支援指導員の現場訪問による各保育施設の支援を全面的に再開した。総合アドバイザー巡回では職員間のコミュニケーション、子どもの人権などについて、相談、助言等の支援を行った。</p>	<p>④リスクマネジメント委員会を開催し、保育施設等におけるリスクについて、行政や各施設として注意すべき点などの情報共有、意見交換を行った。 市内保育施設における不適切な保育等の相談窓口について、対象を保育施設の職員だけではなく、保育施設を利用している子どもの保護者や近隣住民等に拡充し、子どもが安心して保育施設を利用できるよう、不適切な保育を早期に把握する、または未然に防ぐ環境を整備した。⑤新規開設園や運営事業者が変更になった園等に対し、開設後の円滑な施設運営を実現すること、及び武蔵野市で保育施設を運営する自覚と責任を理解してもらうことを目的に、開設前研修を行った。保育アドバイザーや保育事故防止支援指導員の現場訪問による各保育施設の巡回支援を実施した。総合アドバイザー巡回では対象施設を従来の認可保育所に加えて、地域型保育事業へ拡充し、職員間のコミュニケーション、子どもの人権等について、相談、助言等の支援を行った。</p>
-------	---------	--	--	--	---	--

第五次子どもプラン武蔵野評価・点検シート

基本施策2 安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援

【施策2－3】地域子ども館事業の充実

○施策の方向性（子どもプランより）

全ての就学児童が放課後等を安全に過ごし、多様な体験・活動を通じ、健やかな成長ができるよう、地域子ども館事業について現状を評価するとともに充実させます。
地域子ども館あそべえについては、高学年が来所しやすい環境づくりを検討するとともに、夏季休業期間の高学年用開放教室の確保を検討します。
学童クラブについては、質の向上を推進するとともに、低学年児童の待機児童を出さないよう、学校敷地内及び隣接地での整備を行います。
また、4年生以上の受入れについては、施設の拡充等の進捗や地域での子どもの居場所の状況を見据えながら検討を進め、まずは保護者のニーズの高い学校長期休業中の一時育成事業について優先的に検討を進めます。

施策全体の進捗状況（担当：児童青少年課）

令和6年度の実績評価

学童クラブの申し込みについて、電子申請を開始した。また、桜野こどもクラブで適正な定員数にするため支援単位の分割を行った。学童クラブ入会児童の増加が続いているため、新たな支援単位の増設へ向けて準備を進めた。また、令和7年度より五小こどもクラブが仮設校舎に移転するための準備を行った。
さらに、児童の進学先や保護者の就労形態の多様化に対応するため、民間の学童クラブへの支援を行った。昨年度に引き続き、育成の質の確保を図るために国の指針に沿った第三者評価を実施した。

個別事業の実施状況（※特記すべき内容があれば記載）

事業名		所管課	特記事項
72	地域子ども館こどもクラブ(学童クラブ)の充実	児童青少年課	学童クラブの申し込みについて、電子申請を開始した。また、桜野こどもクラブで適正な定員数にするため支援単位の分割を行った。

第五次子どもプラン武蔵野評価・点検シート

基本施策2 安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援

【施策2-4】子どもの医療費助成の拡充

○施策の方向性（子どもプランより）

18歳までの子どもの医療費についても、子どもの保健の向上と子育て家庭の経済的負担を軽減し、必要な医療を安心して受けられる環境を整備するため、所得制限なく無償とする仕組みを検討し、制度の導入を目指します。

施策全体の進捗状況（担当：子ども子育て支援課）

令和6年度の実績評価

東京都制度（マル青）を、円滑に運用した。

重点事業の実施状況

77 子どもの医療費助成の拡充

【事業の目的】 全ての子どもが健やかに成長することができるよう、医療費助成の対象年齢を拡大し、子どもの保健の向上と子育て家庭の経済的な負担の軽減を図ります。

所管課		子ども子育て支援課				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予定・目標		18歳までの子どもの医療費について、所得制限なく無償とする仕組みを検討し、制度導入を目指す。	令和3年4月診療分より、高校生等の入院について償還払いによる助成を実施するとともに、令和4年度からの医療証発行及び現物給付に係る事前準備を行う。	令和4年度より、入院のみであった高校生等（18歳年度末まで）の医療費助成の内容を拡充し、通院等に係る保険診療自己負担分についても助成を開始する。	令和5年4月診療分より、市単独事業から東京都制度（マル青）へ移行し、より効果的な子育て支援となるように子どもの医療費助成を実施する。	東京都制度（マル青）を円滑に運用する。
評価・課題	評価	◎	◎	◎	◎	◎
	評価理由・課題	制度の仕組みについて庁内で検討・調整を実施し、関係機関等と丁寧な意見交換を実施した。その内容をまとめて条例改正案として上程し、制度導入が決定された。また、令和3年度からの事業実施に向けて対象者や関係機関等に広報周知を実施した。	申請のあった高校生等の入院医療費について、滞りなく償還払いを実施した。また、審査支払機関及び医療機関等と契約事務等の現物給付の準備を調整するとともに、来年度の対象者に対して申請勧奨を実施して医療証の交付準備を進めている。	令和4年4月診療分より通院・調剤等の助成を開始し、受給者等から申請のあった現金給付や審査支払機関から請求のあった現物給付について滞りなく支払い事務を行った。また、来年度からの東京都制度（マル青）への移行の準備を実施した。	令和5年4月診療分より、市単独事業から東京都制度（マル青）へ滞りなく移行した。	東京都制度（マル青）を円滑に運用した。

第五次子どもプラン武蔵野評価・点検シート

基本施策2 安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援

【施策2－5】ライフステージの特性に応じた食育の推進

○施策の方向性（子どもプランより）

食に関する能力を身に付け、その力を発揮して生活を営み、生涯を通じて健康的な生活を営めるように、子どもというライフステージの特性に応じた効果的なアプローチにより支援します。
食物をよく噛んでおいしく食べ、健康で豊かな食生活を送るためには、口腔機能が十分に発達し、維持されることが重要です。このため、乳幼児期における機能獲得から始まる、歯と口の健康づくりを通じた食育を推進します。
よりよい食環境を維持するため、消費者から生産者に対する理解・感謝の気持ちと、生産者から消費者に対する安心・安全な食品の提供という、生産から消費までの「食の循環」を生み出す取組みを、市内や友好都市等の生産者と連携して行います。
地域の力を活用した食を通じた世代間交流を通し、食の楽しみ、食文化、伝統行事、料理技術等を継承していきます。

施策全体の進捗状況（担当：健康課）		
令和6年度の実績評価		
<p>このとり学級や育児学級（離乳食教室）において、妊娠前から乳幼児期の発達段階に応じた、健康的な食生活や口腔機能発達のための啓発に継続して取り組むことができた。 ゆりかごむさしのフェスティバルでは、乳幼児の食事に関する展示と相談に加え、試食により幼児期に適した食形態や味付けについて啓発を行った。 市内産農産物の直売会や、直売所の周知活動等の、市民と生産者をつなぐ取組みにより、より良い食環境の維持に努めることができた。</p>		

個別事業の実施状況（※特記すべき内容があれば記載）			
事業名		所管課	特記事項
84	育児学級（離乳食教室）	健康課	新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた試食と、参加者同士の交流を再開した。

第五次子どもプラン武蔵野評価・点検シート

基本施策2 安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援

【施策2－6】子ども・子育て支援施設のあり方検討

○施策の方向性（子どもプランより）

子どもと子育て家庭が、安心して適切なサービスを受けることができるよう、子ども・子育て支援施設について、今後の財政状況、人口推計及び市民ニーズ調査の結果を踏まえ、市の子ども・子育て支援施設のあり方の検討を進めます。 市立保育園については、市内の保育の状況や外部有識者など幅広い意見を踏まえて、その役割とあり方の検討を進めます。 桜堤児童館については、現在の事業に加え、未就学児を対象とした事業を拡充します。 各子ども・子育て支援施設については、公共施設等総合管理計画の改定を踏まえ、計画的な維持・更新のための方針を策定し、整備を進めます。 災害時における各子ども・子育て支援施設の役割について検討を行い、マニュアルの整備や、災害時の態勢の強化を図ります。
--

施策全体の進捗状況（担当：子ども子育て支援課）
令和6年度の実績評価
0123施設について、令和4年度及び令和5年度の時間延長及び4・5歳児支援の施行結果を踏まえ、次期子どもプランの内容の検討を行った。 地域子育て支援拠点の整備についても、次期子どもプランの内容を検討した。 市民会館の大規模改修に伴い、新たに地域子育て支援拠点を整備することとなり、実施設計を行った。 市立南保育園の改築については、令和7年度実施予定の基本設計策定に向け、必要な設備や機能等の検討を行った。また、令和5年度に実施した、仮設園舎の建設予定地である南町苗木畑公園地内の現場条件等、事前調査結果を踏まえ、令和8年度に建築を予定する仮設園舎の建築計画について検討を行った。

重点事業の実施状況

89 子ども・子育て支援施設のあり方検討

【事業の目的】子どもと子育て家庭が、安心して適切なサービスを受けることができるよう、子ども・子育て支援施設の計画的な整備を行います。

所管課		子ども子育て支援課・子ども育成課・児童青少年課				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予定・目標		①各施設について、計画に基づき、必要な整備を進める。 ②「武蔵野市立保育園のあり方検討有識者会議」を実施する。	①引き続き、各施設について計画に基づき、必要な整備を進める。 ②市立保育園のあり方検討有識者会議報告書を受けた、職員ワーキングを実施する。 ③地域子育て支援拠点施設の増設について具体的に検討する。	①引き続き、各施設について計画に基づき、必要な整備を進める。 ②引き続き、保育士による市立保育園のあり方検討ワーキングを実施する。 ③空白地域(境エリアを予定)において公募による運営事業者選定プロポーザルを行い、年度内に1か所、地域子育て支援拠点施設の新規開設を目指す。	①引き続き、各施設について計画に基づき、必要な整備を進める。 ②引き続き、保育士による市立保育園のあり方検討ワーキングを実施する。 ③募集方法を見直した上で空白地域いずれか二箇所において地域子育て支援拠点の新規開設を目指して公募を行う。また、その他のニーズ充足方法の検討を行うとともに、次期子どもプランにおける今後の整備のあり方を検討する。	①引き続き、各施設について計画に基づき、必要な整備を進める。 市立南保育園の新園舎の基本設計策定に向けての機能要件の整理を行う。 ②市立保育園のあり方検討ワーキングについては令和5年度をもって終了するが、市立保育園の求められる役割について現場の保育士が考える場を今後どのように設定するか検討する。 ③空白地帯について、出張ひろばの拡充や公共施設改修に合わせた整備を視野に検討を行う。また、次期子どもプランで今後の整備のあり方を検討する。
評価・課題	評価	◎	◎	△	◎	◎
	評価理由・課題	①各施設について、計画に基づいた整備を着実に進めた。 ②「武蔵野市立保育園のあり方検討有識者会議」を設置し、市立保育園の必要性をどのように考えるか、またその役割をどのように位置付けるかについて検討し、報告書を公表した。	①各施設について、計画に基づいた整備を着実に進めた。 ②保育士による市立保育園のあり方検討ワーキングを実施し、保育の質の向上における市立保育園の役割等について検討した。 ③地域子育て支援拠点施設の増設について具体的に検討を行い、今後の整備方針及び方向性を整理した。	①各施設について、計画に基づいた整備を着実に進めた。 ②園単位ではなく地域・市全体の対極的立場で市立保育園のあり方を検討することにより、公務員保育士としての意識が高まった。 ③採択なしという結果をふまえ、次年度の募集方法の見直しを行う。	①試行実施により、0123施設のあり方検討を行った。 市立南保育園、子ども協会立東保育園の解体・改築工事に伴い、仮設園舎の建設予定地である南町苗木公園において建築可能な仮設園舎の規模等の事前調査を実施した。 ②市立保育園のあり方検討ワーキングにおいて市立保育園のICT化の推進による業務の効率化と保護者の利便性の向上に向けた具体的な検討を行った。 ③境南町に新規拠点を開設した。	①0123について、今後のあり方を検討し次期子どもプランの作成を行った。 市立南保育園の改築については、令和7年度実施予定の基本設計策定に向け、保育現場職員や庁内関係者にて、新園舎に求められる必要な設備や機能等の検討を行うとともに、令和8年度に建築を予定する仮設園舎の建築計画について検討を行ったが、昨今の建設資材高騰等、社会経済情勢の急激な変化等により、仮設園舎の建築費用が非常に高額になることが見込まれることから、建替え時期を数年程度延期するとともに整備方針を見直すこととした。 ②ワーキングは終了したものの、令和5年度のワーキングで検討されたICT化について、保育支援システムを導入し、運用面の整理を園横断的に行った。 現場の保育士が考える場としては、市立保育園の求められる役割を踏まえた上で、日々の業務をどのように向上させていくかを検討す場を次年度以降に設定することを決定した。 ③空白地帯について、出張ひろばの拡充や公共施設改修に合わせた整備を視野に検討を行った。吉祥寺南町コミュニティセンターでは令和6年4月から、西久保コミュニティセンターでは令和7年2月から出張ひろばを拡充した。次期子どもプランで今後の整備のあり方を検討した。

個別事業の実施状況（※特記すべき内容があれば記載）		
事業名		特記事項
93	桜堤児童館における子ども・子育て支援機能の充実	児童青少年課 今年度中高生と赤ちゃんの交流事業を施行にて試行で行った。
94	桜堤児童館の整備方針の検討	児童青少年課 児童館敷地内の樹木老朽のため伐抜根を実施した1階ホール硝子交換工事及び敷地内樹木伐採伐根工事を行った。 大規模改修工事に伴う実施設計を行った。
95	地域子ども館あそべえ・学童クラブの改築・改修計画の推進	児童青少年課 教育企画課と仮設校舎及び改築後の校舎について協議を行った。
97	市立自然の村の保全及びキャビン更新の検討	児童青少年課 中央棟および管理棟の浄化槽が経年劣化したことに伴い、令和6年度中に債務負担行為の補正をくみ更新工事の契約を結ぶ予定であったが不調に終わり翌年度に回した。 また自然の村内に複数頭の熊が出没したため、熊柵設置のための債務負担行為の補正予算を組み、委託契約を結んだ。

第五次子どもプラン武蔵野評価・点検シート

基本施策3 子どもと子育て家庭を地域社会全体で応援する施策の充実

【施策3-1】まちぐるみで子どもと子育てを応援する事業の推進

○施策の方向性（子どもプランより）

子育て中の家庭が、地域に支えられているという実感を持ちながら、安心して子育てができるよう、まちぐるみで子どもと子育てを応援する取組みを、関連する団体、施設、専門機関等と積極的に連携、協働し、行政の分野の枠を越えて推進します。

施策全体の進捗状況（担当：子ども子育て支援課）

令和6年度の実績評価

11月20日「武蔵野市子どもの権利の日」を含む10月～11月を「子ども・子育て応援フェスタ」と位置づけ、子どもの権利の日イベントをはじめとする様々なイベントを実施したほか、「子ども・子育てを応援するまち武蔵野」の横断幕を、市役所前と、市内3駅前に掲出した。また、イベント情報・子育て支援情報などを掲載した特設サイトを開設し、子どもと子育て家庭を応援しているというメッセージを発信することができた。新型コロナウイルスの影響で一部休止していたベビーカー貸出しサービス「ベビ吉」についても、全会場で貸出し再開し、現在4か所で開催している。

個別事業の実施状況（※特記すべき内容があれば記載）

事業名		所管課	特記事項
100	まちぐるみで子どもと子育てを応援する事業の推進	子ども子育て支援課	10月～11月を「子ども・子育て応援フェスタ」とし、子どもの権利の日イベントを実施したほか、「子ども・子育てを応援するまち武蔵野」の横断幕を、市役所前と、市内3駅前に掲出した。また、イベント、子どもの権利、子育て支援サービス、子育て支援団体等の情報を掲載した特設サイトを開設し、子どもと子育て家庭を応援しているというメッセージを発信した（11月30日までのサイトへのアクセス件数2,400件）。
105	公共施設や民間施設のバリアフリー化の推進	まちづくり推進課	令和6年11月にバリアフリーネットワーク会議を開催し、子育て関連団体を含む当事者や事業者と情報交換を行った。

第五次子どもプラン武蔵野評価・点検シート

基本施策3 子どもと子育て家庭を地域社会全体で応援する施策の充実

【施策3-2】 保育人材等の確保と育成

○施策の方向性（子どもプランより）

保育需要の増加が見込まれるなか、良質な保育を提供するために、保育人材の確保と育成への取り組みを行います。
保育の担い手である保育人材の確保については、潜在保育士の活用等の対策を検討します。入会希望児童の増加している学童クラブで待機児童を出さないようクラブ室を整備し、育成にあたる支援員を確保します。
児童虐待・養育困難家庭への支援については、家庭への適切な支援を行うことのできる相談員の確保と育成を進めます。

施策全体の進捗状況（担当：子ども育成課）
令和6年度の実績評価
国、都の補助や期末報償金補助金を活用し保育士の処遇改善を図ることにより、保育人材の確保に努めている。また、全体研修等の市主催の研修を開催する等、引き続き保育人材の育成に努めている。 家庭への適切な支援を行うことのできる相談員を確保し、毎月課内で研修を実施したほか、外部への研修にも積極的に参加させることで育成を進めた。

第五次子どもプラン武蔵野評価・点検シート

基本施策3 子どもと子育て家庭を地域社会全体で応援する施策の充実

【施策3-3】 子ども・子育てを支える地域の担い手の育成

○施策の方向性（子どもプランより）

子どもが健やかに育つためには、家庭、学校、地域住民が、それぞれの関わりにおいて支え合う必要があります。その仕組みづくりを推進します。
ファミリー・サポート・センター事業のサポート会員や子育てひろばのボランティアスタッフ等、地域の子育て支援人材の発掘や育成、活動継続のための支援を引き続き行っていきます。
青少年問題協議会地区委員会の活動への支援を充実させ、市民の理解と参加促進を図ります。
また、義務教育段階から地域活動に参加する機会をさらに充実させ、その主体的な取組みをサポートすることや、地域団体等との関係づくりを通じて、次世代の担い手を育成します。

施策全体の進捗状況（担当：児童青少年課）
令和6年度の実績評価
令和5年度より開始した中学生・高校生リーダー向け「Outdoor School」事業を引き続き実施した。青少協ワークショップについては、参加者が固定してきており、また参加への敷居が高いというイメージを持たれてしまったため懇親会という形態に方法を変え、その場で青少協地区委員会が抱える課題についての話し合いの場所を提供し、地域活動の活性化を図った。また、むさしのジャンボリー50回記念式典等を開催する予定であったが、むさしのジャンボリーは今年度中止になったため、来年度に持ち越すことになった。

第五次子どもプラン武蔵野評価・点検シート

基本施策 3 子どもと子育て家庭を地域社会全体で応援する施策の充実

【施策3－4】子どもに安全・安心なまちづくり

○施策の方向性（子どもプランより）

ホワイトイーグルや市民安全パトロール隊、自主防犯組織によるパトロール活動の充実、防犯カメラの設置促進や街路灯照度の向上のほか、子ども自身と大人も含めた市民全体の防犯意識や交通安全意識を高めるための教育・啓発の実施等、子どもの安全・安心を地域社会全体で守る体制を整備します。

施策全体の進捗状況（担当：安全対策課・交通企画課）
令和6年度の実績評価
令和6年度武蔵野市生活安全計画で、重点目標の第1に「子どもに安全・安心なまちづくりの推進」を掲げ、市民安全パトロール隊や安全パトロール隊ホワイトイーグルによるパトロール活動や、警察などの関係機関と情報共有や連携をしながら、子どもの安全・安心を守るための取組みを進めた。 ホワイトイーグル隊員による、子ども関連施設における防犯講話を27回実施した。 商店会等の地域団体における街頭防犯カメラの設置促進について、既に設置されている防犯カメラの維持に係る経費（保守・修繕・移設）の補助を延べ143台分実施した。 ※新規（又は更新）設置に対する補助35台分、運用に係る経費（電気・使用料）の補助は延べ88台分実施 市民安全パトロール隊員及び自主防犯組織に対してパトロールに関わる研修を実施した。 児童及び生徒への交通安全教育については、市立小学校12校・中学校2校で歩行横断訓練、自転車安全教室等を実施した。 自転車安全利用講習会については、一般講習21回及び出張講習18回を開催し、計2,912名が受講した。受講者アンケートから自転車交通ルールの知識及び遵守意識が向上している。また市内の公立小学校低学年（1～3年生）向けに、各回内容が異なる自転車安全利用啓発チラシを4回配付した。

第五次子どもプラン武蔵野評価・点検シート

基本施策 4 子どもの「生きる力」を育む

【施策4－1】「生きる力」を育む幼児教育の振興

○施策の方向性（子どもプランより）

生涯にわたる人格形成の基礎を培う大切な時期である幼児期に「生きる力」を育むため、幼稚園、保育所、認定こども園など幼児教育の担い手が研修等で互いに連携しつつ、保育者の資質・専門性を向上させ、幼児期の子どもの個性に応じた発達を支える取組みを行います。

施策全体の進捗状況（担当：子ども育成課）

令和6年度の実績評価

令和7年2月に幼児教育に関する専門研修を開催予定。

重点事業の実施状況

120 生きる力を育む幼児教育の振興

【事業の目的】生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期である幼児期に、生きる力、自らの人生を切りひらいていく力を身に付けていくための取組みを推進します。

所管課		子ども育成課				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予定・目標		「武蔵野市生きる力を育む幼児教育振興検討会議」の実施	①「武蔵野市生きる力を育む幼児教育振興検討会議」の実施 ②具体的な取り組みの検討・実施	①幼児教育に関するシンポジウムの実施 ②啓発リーフレット作成 ③幼児教育に関する研修の実施	幼保小連携を推進する事業の実施	幼保小連携を推進する事業の実施
評価・課題	評価	○	◎	◎	◎	◎
	評価理由・課題	「武蔵野市生きる力を育む幼児教育振興検討会議」の設置について、当初の予定より遅れてのスタートとなった。	「武蔵野市生きる力を育む幼児教育振興検討会議」を6回開催し、検討のまとめとして令和3年11月に「武蔵野市生きる力を育む幼児教育振興検討会議報告書」を作成した。	令和4年9月にシンポジウム「これからの幼児教育をみんなで考える」を開催し、188名が参加した。「武蔵野市生きる力を育む幼児教育振興検討会議報告書」周知用リーフレットを8,500部作成、配布した。令和4年5月および10月に幼児教育に関する専門研修を開催した。	武蔵野東学園へ委託した「幼児期の特別支援教育に関する研修会」の中で、一部「幼保小接続について」という内容を取り入れた。研修会には60人が参加した。 小学校各校にて幼児期の豊かな学びを引き継いだ取組を推進するために、「武蔵野スタートカリキュラム」を策定した。	武蔵野東学園へ、幼保の連携を強化するため、幼稚園及び保育所等の幼児教育の取組み共有等の研修を委託した。小学校各校にて幼児期の豊かな学びを引き継いだ取組を推進するために、引き続き「武蔵野スタートカリキュラム」を策定した。

第五次子どもプラン武蔵野評価・点検シート

基本施策4 子どもの「生きる力」を育む

【施策4－2】青少年健全育成事業の充実

○施策の方向性（子どもプランより）

自立性や創造性、豊かな心を育むために様々な実体験の場を提供するとともに、国際平和や共生社会を理解するための活動や学びの場を提供し、子どもの健全な育成を行います。
また、生活や学校、人間関係等に悩みを持つ子どもに相談や活動の場を提供し、自立や社会参加に向けた支援を行います。
自然体験や地域活動を多く体験した子どもは、大人になってからの意欲・関心や職業意識を高く持つ傾向があります。
体験活動を大切にする事業を引き続き実施しつつ、子どもの市や地域への愛着を高める観点からも事業の充実を図ります。
社会生活を円滑に営むうえでの困難を有する子どもや青年に対して、生活、学習、就労等の支援を充実させるとともに、当事者となる若者世代からの提言を踏まえ、子どもが自由に来所でき、安心して過ごし、集うことができる地域における多様な居場所についても検討を行います。

施策全体の進捗状況（担当：児童青少年課）

令和6年度の実績評価

引き続き青少年向けの自然体験事業を実施した。また、中高生リーダーが自主的に地域活動へ参加できるよう関係各機関からの情報を提供した。
社会生活を円滑に営む上での困難を有する青少年向けの居場所・相談事業については、他の関係組織と連携を図ることを目的に会議を開催した。中学生・高校生の居場所については、コミュニティセンターと連携して当事者からの意見を聴取する機会を吉祥寺北コミセンで設けた。

重点事業の実施状況

125 中学生・高校生の居場所の検討

【事業の目的】地域の中に、子ども自身が安心して過ごし、集うことのできる場所があるよう、子どもの居場所についての検討を行います。

所管課		子ども子育て支援課・児童青少年課				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予定・目標		中学生・高校生の居場所について、当事者である中学生・高校生世代からの意見を聴取する。	引き続き中学生・高校生の居場所について、当事者である中学生・高校生世代からより多くの意見を聴取するとともに、居場所のあり方についての市の方針をまとめるための検討を進める。	引き続き中学生・高校生の居場所について、当事者である中学生・高校生世代から意見を聴取するとともに、居場所のあり方についての市の方針をまとめるための検討を進める。	引き続き中学生・高校生の居場所について、当事者である中学生・高校生世代から意見を聴取するとともに、保健センター増築及び複合施設整備の検討など、居場所のあり方についての市の方針をまとめるための検討を進める。	コミュニティセンターでの子どもの居場所の可能性を探るために、利用する子どもたちから意見を聴取する場を設け、コミュニティセンターの活用を考えていく。また、令和5年度の検討結果を踏まえ、中央および東部地区の居場所について、具体的に検討を進める。
評価・課題	評価	○	○	○	○	◎
	評価理由・課題	中高生世代ワークショップ「Teensムサカツ2021春」を開催し、中高生から居場所に関する意見を聴取した。ワークショップで出た意見も参考にしつつ、今後具体的な居場所のあり方について市の方針をまとめていく必要がある。	プレーパーク子ども・若者支援事業参加者より居場所についての意見を聴取した。武蔵野市子どもの権利に関する条例検討委員会での議論を踏まえて、居場所についての検討を進める必要がある。	職場体験で訪れる中学生から意見を聴取した。また、他自治体施設を視察し、居場所に関する知見を広めた。今後、市の既存事業との関係も含め、保健センター増築及び複合施設整備の検討など、居場所のあり方を具体的に検討する必要がある。	武蔵野プレイスと桜堤児童館で小学生から中高生世代を対象に居場所に関するアンケート調査を実施した。今後はアンケート結果を参考に、具体的な居場所について検討を進める必要がある。また既存の施設についての活用方法を考えていく必要がある。	吉祥寺北コミセンにおいて、小中高生を対象に意見交換会を実施した。中央および東部地区の居場所については、他自治体の視察を行い、今後具体的な検討を進めて行く。
個別事業の実施状況（※特記すべき内容があれば記載）						
事業名		所管課	特記事項			
128	むさしのジャンボリー事業の充実	児童青少年課	むさしのジャンボリー開催直前に自然の村内に複数の熊が出没したため、第50回の開催を中止した。			
130	中高生世代ワークショップ等の実施	児童青少年課	「こんなまちになったらいいなを市政に」をテーマに、中高生世代32名でワークショップを11月～2月に年6回実施し、最終回では市政提案会を開催した。			

第五次子どもプラン武蔵野評価・点検シート

基本施策4 子どもの「生きる力」を育む

【施策4-3】子どもの体験・学習機会の充実

○施策の方向性（子どもプランより）

現代の子どもたちに「生きる力」を育むために、子どもの体験・学習機会の充実を図る取組みを進めます。

大学等が保有する教育課程、人材、組織、施設等の資源を活用し、高度で継続的及び体系的な学習の機会を提供します。また、学校休業日の土曜日に体験活動を中心とするプログラムを展開します。

市内のスポーツができる身近な体育施設・公園・コミュニティセンター・学校等を有効活用できるよう案内した「むさしのスポーツマップ&ガイド」と、事業を体系的に整理した「小・中学生の講座まるごとナビ」を発行し、情報提供を行います。

環境問題については、子どもたちが環境の変化を自らの問題として捉え、主体的に環境に配慮した行動を実践していくことができるよう、環境学習や啓発事業を進めます。また、環境への関心を高めるためには、子どもから大人まで全世代に向けた環境学習の充実が大切であるため、学校教育や生涯学習など様々な場面で行われている環境学習プログラムについて、関連性や連続性といった視点を重視して進めます。

施策全体の進捗状況（担当：環境政策課・生涯学習スポーツ課）

令和6年度の実績評価

環境啓発施設むさしのエコreゾートでは、廃材を活用した工作や、環境に関する書籍の閲覧など、引き続き子どもたちに環境について学び、体験できる場を提供した。令和6年度の来館者数は99,517人で、その多くが子どもとその保護者となっている。

子どもたちのゴールデンウィークや夏休み期間に合わせて開催した「エコreリゾートワークショップ」において、環境市民団体や企業などによる環境啓発に関する講座や工作を実施。11月に開催した「第17回むさしの環境フェスタ」では、環境部内各課・環境市民団体や企業とともに、主に子ども向けのワークショップや展示を行った。キッチンカーの出店やエコ実験ショー、市民と協力したキャンドルナイトも実施し、子どもたちが1日を通じて楽しく環境に触れられるイベントとして実施した。

生涯学習事業については、体験活動を中心とする土曜学校や親子参加ができる講座等を、大学等の協力を得ながら、開催した。

「小・中学生の講座まるごとナビ」については、他課及び他団体の小中学生対象事業情報を取りまとめて、一部データ配布を含めて発行した（令和6年4月）。

スポーツ関連事業については、ホームページやSNS等を活用し、必要な情報提供を行った。

個別事業の実施状況（※特記すべき内容があれば記載）

事業名		所管課	特記事項
153	夏休みごみ探検隊	ごみ総合対策課	市内在住、在学の小学生から参加者（保護者同伴）を募集し、参加者30名にて実施した。中間処理施設（武蔵野クリーンセンター）の見学や最終処分場の見学を行い、これらを通じて身近なごみの処理やごみの行方について学び、ごみの減量・ごみと環境の関わり・自然環境保全に対する認識を深めた。

第五次子どもプラン武蔵野評価・点検シート

基本施策4 子どもの「生きる力」を育む

【施策4－4】全ての学びの基盤となる資質・能力の育成

○施策の方向性（子どもプランより）

「生きる力」を支えるあらゆる学びの基盤である言語能力、情報活用能力等の資質・能力を育成し、健康増進や子どもたちの安全を守る取組みを着実に進めます。さらに、授業におけるICT機器の活用拡大や、コミュニケーションツールとしての英語を使いこなす基礎を養うための教育の充実等を図ります。

施策全体の進捗状況（担当：指導課）
<p>令和6年度の実績評価</p> <p>各校にて、全ての教科指導において児童・生徒が自分の意見を主張する、話し合うなどの言語活動の充実に取り組んだ。結果として、全国学力学習状況調査では、記述式の問題の全国平均正答率が国や東京都よりも10ポイント以上高い結果となった。また、学校図書館長(校長)を中心に、図書館開放や、学習センター、情報センターとして教科指導と連携した取組を進めるために、学校司書の連携や研修(講師:青山学院大学准教授 庭井史絵氏)等を充実した。</p> <p>武蔵野市学習者用コンピュータ活用指針に基づき、各校にて情報活用能力の全体計画や年間指導計画を作成し、子どもたちがICTを活用して他者と協働して自己の考えを発信したり、深めたりする学習活動や学校内外における適切な活用を促すためのデジタル・シティズンシップに関する取組(家庭における学習者用コンピュータの約束づくりなど)を家庭と連携して取り組んだ。</p> <p>また、小学校英語教育推進アドバイザー事業によって得た知見を基に、学校にて外国語を使ったコミュニケーションを図ろうとする態度等の育成に取り組むことができた。</p>

重点事業の実施状況						
154 英語教育の充実						
【事業の目的】子どもたちが英語で多様な人々とコミュニケーションを図ることができる基礎的な力を育むため、学校生活で英語を使う多様な機会を確保します。						
所管課		指導課				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予定・目標		小学校英語教育推進アドバイザーによる巡回指導等を通して、ALT とのティーム・ティーチングのあり方や地域の方と連携した授業展開を工夫するなど小学校教員による外国語（英語）科指導を充実させるとともに、中学校英語科とのスムーズな接続を図り、児童・生徒の英語力を向上させる。	感染予防を徹底した上でコミュニケーションを図る授業を展開できるよう、小学校英語教育推進アドバイザーによる巡回指導を実施するとともに、ALTとのティームティーチングによる授業改善を進め、児童・生徒の英語力の向上を図る。	感染予防を徹底した上でコミュニケーションを図る授業を展開できるよう、引き続き、小学校英語教育推進アドバイザーによる巡回指導を実施するとともに、ALTとのティームティーチングによる授業改善を進め、児童・生徒の英語力の向上を図る。	コミュニケーションを図る授業を展開できるよう、引き続き、小学校英語教育推進アドバイザーによる巡回指導を実施するとともに、研修の充実により、ALTとのティームティーチングによる授業改善を進め、児童・生徒の英語力の向上を図る。	令和5年度まで実施してきた小学校英語教育推進アドバイザー事業によって得た知見を基に、学校にて外国語を使ったコミュニケーションを図ろうとする態度等の育成を目指す。
評価・課題	評価	○	◎	◎	◎	◎
	評価理由・課題	小学校英語教育推進アドバイザーによる巡回指導を継続して実施するとともに、10月に小学校外国語等担当者会を開催し、5年外国語の授業視聴を基に協議を行う研修を実施できた。小学校英語教育推進アドバイザーによる巡回指導を効率的に行い、小学校において外国語の授業を担当している教員や講師の外国語（英語）科指導の充実を図る必要がある。	小学校英語教育推進アドバイザーによる巡回指導を小学校全校で実施できた。また、10月に小学校外国語等担当者会を開催し、中学校の英語の授業を基に協議を行う研修を実施した。小学校の外国語を担当する全ての時間講師の授業観察を実施し、指導・助言できた。	小学校英語教育推進アドバイザーによる小学校全校への巡回指導とともに、8月の小学校外国語等研修、6月、10月に小学校外国語等担当者会を実施した。巡回指導や研修は、外国語等を担当する市講師を含めて行い、ALTとの連携や発話を促す状況設定の工夫等について研鑽を深めた。また、担当者会では、東京都立立川国際中等教育学校の校長を招いて先進的な取組について何うなど取り組んだ。	小学校英語教育推進アドバイザーによる小学校全校への巡回指導とともに、年間3回の小学校外国語等担当者会を実施した。本取組を通して、学校の実態を把握するとともに、小学校における英語の「書くこと」の指導やコミュニケーションを深める指導の工夫等について深めることができた。	昨年度まで実施してきた小学校英語教育推進アドバイザーによる指導内容を基に、各校にて小学校の外国語や外国語活動において、英語を使ったコミュニケーションを深める指導の工夫に努めることができた。

個別事業の実施状況（※特記すべき内容があれば記載）		
事業名	所管課	特記事項
158 情報通信技術（ICT）を活用した授業の推進	指導課	全国学力学習状況調査の児童・生徒質問紙「前学年までに受けた授業でPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の「ほぼ毎日」「週3日以上」の合計が小学6年90.5%、中学3年64.0%となった。

第五次子どもプラン武蔵野評価・点検シート

基本施策 4 子どもの「生きる力」を育む

【施策 4 － 5】多様性を認め合い市民性を育む教育

○施策の方向性（子どもプランより）

多様性を理解し、他者を尊重できる資質・能力を育成するため、各教科等の学習の中で多様な人々とふれあう機会の充実を図ります。 また、社会の一員として、よりよい地域・社会づくりに参画していく資質・能力を育成するためのシチズンシップ教育として、教科等横断的なカリキュラムである「武蔵野市民科」を実施し、「自立」「協働」「社会参画」の視点から市民性の育成を図ります。あわせて、武蔵野市民科と関連が深いセカンドスクールなど長期宿泊体験活動について、より効果的なあり方を検討します。
施策全体の進捗状況（担当：指導課）
令和 6 年度の実績評価
特別の教科道徳や社会科をはじめ、各教科等の学習の中で、「子どもにとって大切な子どもの権利」等について子ども自身が学ぶ機会をつくるとともに、学校行事や総合的な学習の時間、武蔵野市民科の取組等を通して、子どもが意見表明をしたり、学校づくりやまちづくりに子どもが参画する取組を推進した。特に、運動会や学芸会などの学校行事や、児童会・生徒会活動等において、目的や目標に基づき、どのような取組や工夫ができるか子どもが主体者となって参画する取組が見られるようになった。 全校で自尊感情測定尺度（東京都版）を用いた教育活動の振り返りを行い、各校の特色ある教育活動が子どもの自尊感情や自己肯定感の涵養に与える影響について分析し、改善に努めることができた。 各校で長期宿泊体験活動が資質・能力の育成に与える影響について事業評価を行い、分析を進めた。また、令和3年3月に出された「武蔵野市長期宿泊体験活動検討委員会報告書」にて示された提言内容の進捗状況の検証や今後の持続可能な長期宿泊体験活動の在り方について、「長期宿泊体験活動検証委員会」にて協議を進めた。

重点事業の実施状況

163 武蔵野市民科の実施

【事業の目的】子どもたちが社会の一員として、よりよい地域・社会づくりに参画していく資質・能力を育成するために、小学校第5学年から中学校第3学年までを対象に、教科等横断的なカリキュラムによる学習を実施します。

所管課		指導課				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予定・目標		<p>①各学校において、年度当初の保護者会等で武蔵野市民科について説明する。</p> <p>②学校公開等の機会に、武蔵野市民科の試行授業を公開するとともに、教育課題研究開発校(武蔵野市民科)の中間報告会を行い、保護者・市民への武蔵野市民科についての啓発を図る。</p> <p>③試行授業の結果等をもとに、各学校で単元計画を見直すとともに、武蔵野市民科カリキュラム検討委員会において、授業改善につなげるための情報共有を図る。</p>	<p>①各学校において、年度当初の保護者会等で武蔵野市民科の目的や各校の取組について説明する。</p> <p>②学校公開等の機会に、武蔵野市民科の授業を公開するとともに、教育課題研究開発校(武蔵野市民科)の研究報告会を行い、保護者・市民への武蔵野市民科についての啓発を図る。</p> <p>③令和2年度の取組を基に、各学校で単元計画を見直すとともに、武蔵野市民科カリキュラム推進委員会において、授業改善につなげるための情報共有を図る。</p>	<p>①各学校において学校公開等の機会等に、武蔵野市民科の授業を公開するなど取組を積極的に発信する。</p> <p>②教育課題研究開発校(武蔵野市民科)の研究報告会を行い、保護者・市民への武蔵野市民科についての啓発を図る。</p> <p>③武蔵野市民科カリキュラム推進委員会において、授業改善につなげるための情報共有を図る。</p>	<p>①各学校において学校公開の機会等に、武蔵野市民科の授業を公開する、学校HPなどで取組を紹介するなど、積極的に発信する。</p> <p>②教育課題研究開発校(武蔵野市民科)の取組を各校に還元し、それぞれの学校の特色を生かした武蔵野市民科カリキュラムを推進する。</p> <p>③武蔵野市民科カリキュラム推進委員会において、各校の取組を共有し、カリキュラムの改善・充実とともに事業評価を行う。</p>	<p>①各学校において、学校公開での武蔵野市民科の授業公開、学校HP等での取組紹介など、積極的に発信する。</p> <p>②教育課題研究開発校(武蔵野市民科)の取組を各校に還元し、それぞれの学校の特色を生かした武蔵野市民科カリキュラムを推進する。</p> <p>③武蔵野市民科カリキュラム推進委員会において、各校の取組を共有し、小・中学校の連携について検討する。</p>
評価・課題	評価	○	◎	◎	◎	◎
	評価理由・課題	<p>①年度当初から、新型コロナウイルス感染症による影響から、学校公開等の機会が減少した。</p> <p>②11月には、感染拡大防止対策を徹底した上で中間報告会を開催し、市内教員等が参加した。</p> <p>③各校で試行前に立案した計画の変更が生じた。令和3年度の実施に向けて、感染症への対応も含めて、計画を再構築していくことが必要である。武蔵野市民科の次年度に向けての取組について学校だより等を通じて保護者や地域に周知していく必要がある。</p>	<p>①各学校において、年度当初の保護者会等で武蔵野市民科の目的や各校の取組について説明できた。</p> <p>②武蔵野市民科を研究テーマとする教育課題研究開発校の研究発表会を「むさしの教育フォーラム」と共催で開催し、研究発表会の様子を動画撮影しホームページで公開し、市民への啓発を図ることができた。</p> <p>③武蔵野市民科カリキュラム推進委員会を2月に開催し、本年度の振り返りと、来年度の授業改善につなげるための情報共有を行った。</p>	<p>①学校公開等の機会に武蔵野市民科の取組を紹介するとともに、各学校のHPにて取組の紹介を行った。また、これまでの実践を学校ポータルサイトに集約し、80を超える事例が集まった。</p> <p>②教育課題研究開発校として、第二中学校が1月に研究発表を行った。持続可能な社会を見据え、総合的な学習の時間とSDGsを関連させた取組などを学校関係者等に報告した。</p> <p>③武蔵野市民科カリキュラム推進委員会を3回開催し、各校の取組を共有するとともに、今後の推進に向けて指導計画の書式等を改めた。</p>	<p>①これまでの各校の武蔵野市民科に関する実践を学校ポータルサイトに集約したところ、通算で150を超える事例が集まった。</p> <p>②教育課題研究開発校である大野田小学校では、児童の願いを基にした探究的な学習過程を視覚化した単元指導計画を作成し、研究を深め、各校と共有した。</p> <p>③武蔵野市民科カリキュラム推進委員会を3回開催し、各校の取組を共有した。全国学力学習状況調査の社会参画に関する質問の肯定的な回答が東京都平均より高い結果となった。</p>	<p>①学校便りや学校HP等で武蔵野市民科の取組を紹介するとともに、地域のタウン誌と連携した発信などの工夫もみられるようになった。</p> <p>②令和6年11月に研究発表を行い、市内外の教員等100名以上が参加し、探究的な学習過程の工夫や思いや考えを深めるための言語活動の充実等は今後の実践の参考となった。</p> <p>③武蔵野市民科カリキュラム推進委員会と地域コーディネーター連絡会の合同開催を夏に行い、中学校区における連携を深めた。</p>

個別事業の実施状況（※特記すべき内容があれば記載）			
事業名		所管課	特記事項
164	人権教育の推進	指導課	各校の運動会や学芸会等の学校行事では、子どもの意見表明や参画を実現すべく、子どもの主体性や多様なアイデアが生かされた取組が展開された。
167	長期宿泊体験活動（セカンドスクール・ブレセカンドスクール）の実施	指導課	12月末までに長期宿泊体験活動検証委員会を6回実施し、長期宿泊体験活動を持続可能な形で継続していくために、生活指導員の確保や体験活動の系統性などについて協議した。いただいた意見を基に「武蔵野市長期宿泊体験活動検証委員会の意見を踏まえた今後の長期宿泊体験活動の方向性について」をまとめた。

第五次子どもプラン武蔵野評価・点検シート

基本施策4 子どもの「生きる力」を育む

【施策4－6】一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援の充実

○施策の方向性（子どもプランより）

インクルーシブ教育システムの理念を追求し、障害のある子どもと障害のない子どもがともに学ぶ環境をつくるために、全ての児童生徒の自立と社会参加を見据えて、一人ひとりの教育的ニーズに応じることを目指した通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった連続性のある多様な学びの場を用意するとともに、交流及び共同学習を積極的に推進します。この実現を目指し、教員や保護者、地域住民がインクルーシブ教育システムについて理解を深め、推進するために、情報発信や学校、教職員への支援を強化します。

本市の実情を踏まえて、通常の学級における合理的配慮、特別支援教室の運営体制の強化、障害種別ごとの特別支援学級のあり方の検討、特別支援学級における小中連携の推進等を行い、一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援の充実を図ります。また、児童発達支援センターと教育委員会や学校との連携を強化し、就学前後での切れ目のない支援を行う体制を構築します。

あわせて、日本語を母語とせず指導支援を必要とする児童、生徒への帰国・外国人教育相談室等による支援の充実を図ります。

施策全体の進捗状況（担当：教育支援課）

令和6年度の実績評価

特別支援学級設置小中学校に配置した交流共同学習支援員の意見交換会を開催し活動報告や情報交換を行い、活動の充実を図った。

医療的ケアが必要な子どもたちに対応するため、関係機関との連携を図った。

個別事業の実施状況（※特記すべき内容があれば記載）

事業名		所管課	特記事項
168	いじめの防止に向けた取組み	指導課	子どもの権利条例に基づき、いじめ問題対策委員会、いじめ問題関係者連絡会を実施し、関係機関との情報交換や今後の取組について協議を深めた。

第五次子どもプラン武蔵野評価・点検シート

基本施策4 子どもの「生きる力」を育む

【施策4－7】不登校対策の推進と教育相談の充実

○施策の方向性（子どもプランより）

不登校児童生徒が増加しています。また、発達障害、虐待、貧困など子どもや家庭に関する課題は多様化・複雑化し、教育支援センターが果たす各機能の強化が求められています。不登校であっても教育機会を確保できるよう児童生徒へのサポートとして、スクールソーシャルワーカーや家庭と子どもの支援員の配置を拡充し、学校と家庭への支援を強化します。さらに、チャレンジルームの拡充やフリースクールとの連携強化等、多様な学びの場を確保するための検討を行います。

施策全体の進捗状況（担当：教育支援課）

令和6年度の実績評価

家庭と子どもの支援員（常駐型）の配置校を5校増やし、13校で不登校傾向の子どもへの校内支援を実施した。各中学校区を担当するスクールソーシャルワーカー6名に加えて新たにチーフスクールソーシャルワーカーを1名配置し、スクールソーシャルワーカーの相談支援機能を強化した。教育メタバースの広域連携に参加し、不登校児童生徒に対するICTの活用について検討を進めた。

重点事業の実施状況

173 不登校児童生徒の多様な学びの場のあり方の検討と確保

【事業の目的】不登校児童生徒がその状態に応じた学びの場において、指導支援を受け、学校復帰や社会的自立に向けた力を付けられる環境を整えます。

所管課		教育支援課				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予定・目標		不登校生徒のための新しい多様な学びの場として、むさしのクレスコーレを開設する。	チャレンジルーム、むさしのクレスコーレの支援環境の充実を図る。	チャレンジルーム、むさしのクレスコーレの支援環境の充実を図る。	チャレンジルーム、むさしのクレスコーレの相談支援の充実を図る。	チャレンジルーム、むさしのクレスコーレの相談支援の充実を図る。
評価・課題	評価	○	◎	◎	◎	◎
	評価理由・課題	7月にむさしのクレスコーレを開設し不登校生徒の学びの場を拡充した。課題は、増加する不登校児童生徒の多様な学びの場の拡充。	不登校児童生徒の増加に対応するために、チャレンジルーム及びむさしのクレスコーレの運営体制を強化した。	不登校児童生徒の増加に対応するためにむさしのクレスコーレの運営体制を強化した。	チャレンジルーム、むさしのクレスコーレで、学校との連携強化などを通じて相談支援を充実させた。	チャレンジルーム、むさしのクレスコーレで、SSWとの連携や学校との連携強化などを通じて相談支援を充実させた。

個別事業の実施状況（※特記すべき内容があれば記載）

事業名		所管課	特記事項
174	スクールソーシャルワーカーと家庭と子どもの支援員の配置拡充	教育支援課	新たにチーフスクールソーシャルワーカーを1名配置しスクールソーシャルワーカーの相談機能を強化した。家庭と子どもの支援員（常駐型）の配置校を5校増やして教室に入れない児童生徒への校内支援体制を拡充した。

第五次子どもプラン武蔵野評価・点検シート

基本施策 5 教育環境の充実と学校施設の整備

【施策 5－1】教育力の向上をもたらす教職員の働き方の追求

○施策の方向性（子どもプランより）

教員の多忙化が社会的な問題となっています。教員の授業準備の時間と子どもと向き合う時間を十分に確保するため、市講師の配置、副校長等事務補助の配置拡大等を行います。また、部活動については教員の多忙化解消のみならず、活動の持続可能性と質を担保するため、部活動指導員の配置拡大や合同部活動のモデル実施、地域スポーツクラブ化、地域の生涯学習事業としての実施に向けた研究等を行います。

施策全体の進捗状況（担当：指導課）
令和 6 年度の実績評価
定時退勤日の設定や、MSISやクラウドサービスの活用をはじめとしたICTの活用、提出資料等の精選などを進めた結果、教員の週当たりの在校時間は着実に減少してきている。（例…4～7月の在校時間が60時間を超える教員＝令和6年度8.7%、令和5年度11.8%、令和4年度13.9%） 中学校の部活動指導員の予算を4名分に拡充するとともに、部活動コーディネーターを配置し、指導員の確保と質の向上に努めるとともに、令和7年度下半期から「拠点校方式による合同部活動」を実施できるよう、その体制づくりを部活動在り方検討委員会にて協議を進めた。

重点事業の実施状況						
176 武蔵野市立小中学校における働き方改革の推進						
【事業の目的】教員が子どもたちと向き合う時間の確保、教職員一人ひとりの健康増進のために、教員の多忙化解消に向けた取組みを行います。						
所管課		指導課				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予定・目標		①小学校学級担任の持ち時数軽減のための市講師の配置等を生かし、教員の1日あたりの平均在校時間の減少について検証する。 ②部活動指導員の配置による中学校教員の業務や在校時間の改善について検証するとともに、持続可能な部活動の在り方について検討を進める。	①小学校学級担任の持ち時数軽減のための市講師の配置等を生かし、教員の1日あたりの平均在校時間の減少について検証する。 ②部活動指導員の配置による中学校教員の業務や在校時間の改善について検証するとともに、持続可能な部活動の在り方について検討を進める。	①授業や生活指導の質の向上を図るため、市講師を配置して教員の業務について検証する。 ②部活動指導員の配置による中学校教員の業務や在校時間の改善について検証するとともに、持続可能な部活動の在り方について検討委員会を再開し検討を進める。	①授業や生活指導の質の向上を図るため、市講師を配置して教員の業務について検証する。 ②部活動指導員の配置による中学校教員の業務や在校時間の改善を図るとともに、持続可能な部活動の在り方について検討委員会で協議を進める。	①計画的な拡充が完了した市講師の配置による業務の軽減や地域人材の紹介・調整機能の拡充に努める。 ②部活動指導員や部活動コーディネーターの配置による中学校教員の業務や在校時間の改善を図るとともに、持続可能な部活動の在り方について検討委員会で協議を進める。
評価・課題	評価	○	○	◎	◎	◎
	評価理由・課題	①例年とは異なり、宿泊行事がなくなったり行事変更をしたため、平均在校時間の縮減が図られた時もあるが、増えた時もあり、一定の成果につなげることが難しかった。 ②部活動指導員を各校1名配置したことによる活動の充実、教員の負担軽減が図られている。	①市講師を配置したことにより、学級担任の持ち時数を軽減できた。また、1日当たりの在校時間を減少させることができた。 ②部活動指導員を各校に1名ずつ配置し教員の負担感の軽減が図られた。一方で国で地域部活動の方針が検討されていることを踏まえ、令和2年度の検討委員会は休会とした。	①市講師が配置された教員の月平均在校時間を検証すると、単年で2時間30分、2年連続だと4時間32分減少となり、成果が継続していることが分かった。 ②部活動の在り方検討委員会を3回行い、部活動の意義等について協議し、当事者である児童・生徒や教員、保護者向けのアンケートを行った。	①令和5年度1学期の小学校学級担任の持ち授業時数は、低学年20.4、中学年20.7、高学年19.4となり、持ち授業時数削減の目標を達成した。 ②部活動指導員を2名に拡充するとともに、部活動在り方検討委員会を3回実施し、今後の地域連携の方向性として合同部活動や事務局の体制等の協議を進めた。	①令和6年度1学期の小学校学級担任の持ち授業時数は、低学年20.0、中学年20.1、高学年19.0となり、昨年に引き続き、持ち授業時数削減の目標を達成した。 ②部活動指導員予算を4名分に拡充と部活動コーディネーターの配置を行った。部活動在り方検討委員会にて、拠点校方式による合同部活動の協議を進めた。

個別事業の実施状況（※特記すべき内容があれば記載）			
事業名		所管課	特記事項
177	持続可能な部活動の実施に向けた取組み	指導課	中学校の部活動指導員を4名に拡充するとともに、部活動コーディネーターを設置したほか、12月末までに部活動在り方検討委員会を4回実施し、令和7年度下半期に始める拠点校方式による合同部活動に関する協議を進めた。

第五次子どもプラン武蔵野評価・点検シート

基本施策5 教育環境の充実と学校施設の整備

【施策5－2】質の高い教育を維持するための人材の確保と育成

○施策の方向性（子どもプランより）

東京都においては教員志望者が減少している中で、産育休代替教員等の需要も高まっているため、市区町村において指導力の高い教員を確保するための取組みが必要となっています。
授業力の維持・向上を図るため、教育アドバイザーによる研修・指導等をより充実させることや、市講師の効果的な配置により学級担任の教材研究の時間を確保するなど、教員がやりがいや誇りを感じられるよう、教員へのサポートを拡充します。また、指導力の高い人材を新たに確保するために、本市の教育の魅力を積極的に発信していきます。

施策全体の進捗状況（担当：指導課）
令和6年度の実績評価
教育アドバイザーや指導主事により、教職経験1年目から3年目の若手教員や臨時的任用教員、学校から要請のあった教員へ、個別に授業観察及び授業改善の方策について研修を実施した。夏季休業中に、学校運営の中心となる主任教諭等を対象に「学校マネジメント講座」を2回開催し、9名が受講した。 市ホームページに資料を掲載し、東京都教育委員会による教員公募制度を活用して、主任教諭など学校運営の中心となる教員を募集した。 東京都教育委員会認定団体等の研修会への参加費補助の活用を定例校長会等で促し、11月末の段階で9校から13件の申請があった。

第五次子どもプラン武蔵野評価・点検シート

基本施策 5 教育環境の充実と学校施設の整備

【施策 5－3】学校と地域との協働体制の充実

○施策の方向性（子どもプランより）

現在の学校・家庭・地域をめぐる課題を踏まえたうえで、子どもの豊かな成長を支えるために、学校運営における学校、保護者、地域住民の連携・協働を推進します。開かれた学校づくり協議会を発展させるなど、より主体的に協議できる体制づくりについて検討します。同時に、教育活動を支える地域コーディネーターやPTA等については、負担を軽減し、持続可能な活動とするため、地域と学校が子どもに対して、どのような資質・能力を育むかという目標を共有して連携・協働する体制へ発展させるための検討を行います。

施策全体の進捗状況（担当：指導課）		
令和 6 年度の実績評価		
<p>機能強化した開かれた学校づくり協議会のモデル校である境南小学校、第一中学校では、回数を重ねるごとに、委員同士の熟議が充実し、子どもや地域の実態を踏まえた取組が推進された。その成果を、令和6年11月3日に開催した第18回むさしの教育フォーラムについて報告した。フォーラムには90名の参加があり、事業説明や実践紹介、パネルディスカッションを行った。アンケートでは、「今までの開かれた学校づくり協議会は、参画する仕組みや傍聴、議事録公開など普通の保護者や地域住民には全く開かれていないと感じていたので来年度からどのように変わるのか楽しみです」などが寄せられ、来年度からの全校展開の準備を進めることができた。</p> <p>開かれた学校づくり協議会代表者を12月末までに1回開催し、第四期武蔵野市学校教育計画の中間まとめを基にこれからの武蔵野市の学校教育の在り方について地域の方々と教育委員で議論し、考えを深めることができた。（令和7年1月に第2回を実施予定）</p>		

個別事業の実施状況（※特記すべき内容があれば記載）			
事業名		所管課	特記事項
180	学校・家庭・地域が目標を共有した学校協働体制の構築	指導課	令和7年度からの機能強化された開かれた学校づくり協議会の全校実施に向け、モデル校2校での取組を推進し、その成果を11月の第18回むさしの教育フォーラム「あなたも『開かれた学校作り協議会』のメンバーになれる！？～学校と地域が協力して子どもの学び・育ちを支える環境を目指して～」にて報告した。フォーラムには教員、保護者など合計90名の参加があった。

第五次子どもプラン武蔵野評価・点検シート

基本施策 5 教育環境の充実と学校施設の整備

【施策 5－4】学校改築の着実な推進と安全・安心かつ適切な施設環境の確保

○施策の方向性（子どもプランより）

学校施設整備基本計画に基づき、各学校や地域の実情に合わせた多機能化・複合化を検討しながら、従来の学校環境のもと、学校の改築を着実に進めます。
また、改築するまでの施設についても、計画的な予防保全を継続するとともに、教育的ニーズの変化、自然災害リスク等の外的要因にも適切に対応し、良好な施設環境を確保します。
給食調理施設については、学校給食を安定的に供給するため新桜堤調理場改築を着実に進めるとともに、学校教育における食育推進のため、学校改築に合わせ小学校の自校調理施設の整備を進めます。

施策全体の進捗状況（担当：教育企画課・教育支援課）

令和 6 年度の実績評価

第一中学校及び第五中学校改築事業は、第一中学校が令和8年1月、第五中学校が令和7年3月から新校舎使用を目指し、建築工事を進めた。第五中学校は完成し、仮設校舎から移転し新校舎の使用を開始した。
第五小学校及び井之頭小学校改築事業は、新しい時代の学びを実現できる教育環境について、改築懇談会を開催し、地域住民、保護者、教職員等との議論を踏まえ、実施設計を進めた。第五小学校は、第五中学校校地内の仮設校舎の増築及び改修を行い、令和7年3月に移転した。既存校舎は解体工事の準備を進めた。

重点事業の実施状況

183 学校改築の計画的な推進

【事業の目的】更新時期を迎える学校施設について、今後の学校教育を見据えて必要な教育環境を整備するため、計画的に改築を進めます。

所管課		教育企画課				
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予定・目標		第一中及び第五中の改築に向け、それぞれ改築懇談会を設置し多様な意見を聞きながら、年内を目途に基本計画を策定し、年度内に基本設計・実施設計の事業者を選定する。	①第一中及び第五中について、基本設計・実施設計を行い、令和4年3月を目途に仮設校舎の建設に着手する。 ②第五小及び井之頭小について、基本計画策定準備・設計事業者選定準備等を行う。	①第一中及び第五中の実施設計を進めるとともに、仮設校舎の供用を開始し、既存校舎の解体工事に着手する。 ②第五小及び井之頭小の改築懇談会を設置し、地域の意見を聞きながら改築基本計画を策定する。	①第一中及び第五中については、解体工事を完了し、改築工事に着手する。 ②第五小及び井之頭小については、令和4年度に策定した改築基本計画に基づき、地域の意見を聴きながら、基本設計を実施する。	①第一中及び第五中については、改築工事を進め、第一中学校は令和7年10月、第五中は令和7年1月の竣工を目指す。 ②第五小及び井之頭小については、実施設計を進め、第五小については令和7年度の工事着手に向け解体工事の準備を行う。
評価・課題	評価	◎	◎	◎	○	◎
	評価理由・課題	改築懇談会での議論、学校・近隣住民アンケート結果を踏まえ、第一中学校・第五中学校改築基本計画を策定した。策定にあたっては学区内を対象に説明会を開催するとともに意見募集を実施した。	①第一中及び第五中について、改築懇談会委員・学区内在住者・保護者・教職員等の意見を踏まえ、改築基本設計を完了させた。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、説明会の代替として市公式YouTubeチャンネルにて動画の限定配信を行い、意見募集を実施した。 ②第五小及び井之頭小の改築に向け、敷地条件を整理し、設計者選定の準備を行った。	①第一中及び第五中の実施設計を行った。仮設校舎については、生徒の使用前に内覧会を実施した。また、既存校舎の解体工事については、実施前に近隣住民に対する説明会を実施した。 ②改築懇談会での議論、学校・近隣住民アンケート結果を踏まえ、第五小学校・井之頭小学校改築基本計画を令和5年4月に策定した。策定にあたっては学区内を対象に説明会を開催するほか意見募集を実施した。	①第一中及び第五中については、既存校舎の解体工事を完了し、改築工事に着工した。第一中は入札不調に伴い、当初の令和7年1月末完成が令和7年10月末完成に変更となった。 ②第五小及び井之頭小については、改築基本計画に基づき、改築懇談会委員・学区内在住者・保護者・教職員等の意見を踏まえ、改築基本設計を実施した。	①第一中及び第五中は、竣工に向けて、建設工事を進めた。第五中は完成し、令和7年3月から新校舎の使用を開始した。 ②第五小及び井之頭小は、改築懇談会を開催し、新しい時代の学びを実現できる教育環境について、地域住民、保護者、教職員等の議論を踏まえ、実施設計を進めた。第五小は第五中校地内の仮設校舎の増築及び改修を行い、令和7年3月に移転した。既存校舎は解体工事の準備を進めた。

第五次子どもプラン武蔵野施策体系図（事業一覧）

基本 施策	施策 番号	施策名	施策 主担当	事業 番号	事業名	プラン 掲載 ページ	重点	重点 評価 (R6)	量の 見込み 対象	主管課
1 子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり	1-1	子どもと子育て家庭を包括的に支援する体制の整備	子ども子育て支援課・障害者福祉課	1	子どもと子育て家庭を包括的に支援する体制の整備	24	●	◎		障害者福祉課 健康課 子ども子育て支援課 子ども子育て支援課 児童青少年課 教育支援課
				2	児童発達支援センターによる子どもの発達支援の強化	25	●	◎		障害者福祉課
				3	子どもの権利条例（仮称）の検討	25				子ども子育て支援課
				4	子育てひろばと母子保健事業の連携強化	25				子ども子育て支援課
				5	子ども支援に関する庁内連携の推進	25				子ども子育て支援課
				6	新たな複合施設の必要性の検討	25				子ども子育て支援課
				7	民生委員・児童委員との連携の推進	25				地域支援課
				8	発達に心配のある子どもと保護者を支える取組み	26				子ども子育て支援課
				9	障害児通所事業の質の向上	26				障害者福祉課
				10	重症心身障害児、医療的ケア児など特別な支援が必要な障害児への支援体制の整備	26				障害者福祉課
				11	障害のある子どものきょうだい児への支援	26				障害者福祉課
				12	乳幼児発達相談・発達健診	26				健康課
				13	幼児教育・保育における発達に心配のある子どもや保護者への支援	26				子ども育成課
	1-2	それぞれの環境に応じたきめ細かな子ども・子育て家庭への支援	子ども子育て支援課	14	子どもの貧困対策の推進	30	●	○		子ども子育て支援課
				15	生活困窮者学習支援事業	30				生活福祉課
				16	生活困窮世帯への支援	30				生活福祉課
				17	次世代育成支援プログラム	30				生活福祉課
				18	子育て家庭への経済的支援の実施	30				子ども子育て支援課
				19	障害のある子どもとその家庭への経済的支援の実施	30				障害者福祉課 子ども子育て支援課
				20	就学援助費制度の実施	30				教育支援課
				21	市営住宅・福祉型住宅の子育て世帯用の住宅支援の実施	31				住宅対策課
				22	市民社協による経済的支援の実施	31				地域支援課
				23	ひとり親家庭の自立に向けた支援の充実	31				子ども子育て支援課
				24	ひとり親家庭訪問型学習・生活支援事業	31				子ども子育て支援課
1 子ども	1-3	児童虐待の未然防止と対応力の強化	子ども子育て支援課	25	子育て短期支援事業（ショートステイ）	33			○	子ども子育て支援課
				26	養育支援訪問事業	33			○	子ども子育て支援課
				27	児童虐待・養育困難家庭への支援の強化	33	●	◎		子ども子育て支援課
				28	子育て家庭への総合相談事業	33				子ども子育て支援課
				29	子育て支援ネットワーク事業	33				子ども子育て支援課
				30	虐待予防の強化	34				健康課

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710 711 712 713 714 715 716 717 718 719 720 721 722 723 724 725 726 727 728 729 730 731 732 733 734 735 736 737 738 739 740 741 742 743 744 745 746 747 748 749 750 751 752 753 754 755 756 757 758 759 760 761 762 763 764 765 766 767 768 769 770 771 772 773 774 775 776 777 778 779 780 781 782 783 784 785 786 787 788 789 790 791 792 793 794 795 796 797 798 799 800 801 802 803 804 805 806 807 808 809 810 811 812 813 814 815 816 817 818 819 820 821 822 823 824 825 826 827 828 829 830 831 832 833 834 835 836 837 838 839 840 841 842 843 844 845 846 847 848 849 850 851 852 853 854 855 856 857 858 859 860 861 862 863 864 865 866 867 868 869 870 871 872 873 874 875 876 877 878 879 880 881 882 883 884 885 886 887 888 889 890 891 892 893 894 895 896 897 898 899 900 901 902 903 904 905 906 907 908 909 910 911 912 913 914 915 916 917 918 919 920 921 922 923 924 925 926 927 928 929 930 931 932 933 934 935 936 937 938 939 940 941 942 943 944 945 946 947 948 949 950 951 952 953 954 955 956 957 958 959 960 961 962 963 964 965 966 967 968 969 970 971 972 973 974 975 976 977 978 979 980 981 982 983 984 985 986 987 988 989 990 991 992 993 994 995 996 997 998 999 1000 1001 1002 1003 1004 1005 1006 1007 1008 1009 1010 1011 1012 1013 1014 1015 1016 1017 1018 1019 1020 1021 1022 1023 1024 1025 1026 1027 1028 1029 1030 1031 1032 1033 1034 1035 1036 1037 1038 1039 1040 1041 1042 1043 1044 1045 1046 1047 1048 1049 1050 1051 1052 1053 1054 1055 1056 1057 1058 1059 1060 1061 1062 1063 1064 1065 1066 1067 1068 1069 1070 1071 1072 1073 1074 1075 1076 1077 1078 1079 1080 1081 1082 1083 1084 1085 1086 1087 1088 1089 1090 1091 1092 1093 1094 1095 1096 1097 1098 1099 1100 1101 1102 1103 1104 1105 1106 1107 1108 1109 1110 1111 1112 1113 1114 1115 1116 1117 1118 1119 1120 1121 1122 1123 1124 1125 1126 1127 1128 1129 1130 1131 1132 1133 1134 1135 1136 1137 1138 1139 1140 1141 1142 1143 1144 1145 1146 1147 1148 1149 1150 1151 1152 1153 1154 1155 1156 1157 1158 1159 1160 1161 1162 1163 1164 1165 1166 1167 1168 1169 1170 1171 1172 1173 1174 1175 1176 1177 1178 1179 1180 1181 1182 1183 1184 1185 1186 1187 1188 1189 1190 1191 1192 1193 1194 1195 1196 1197 1198 1199 1200 1201 1202 1203 1204 1205 1206 1207 1208 1209 1210 1211 1212 1213 1214 1215 1216 1217 1218 1219 1220 1221 1222 1223 1224 1225 1226 1227 1228 1229 1230 1231 1232 1233 1234 1235 1236 1237 1238 1239 1240 1241 1242 1243 1244 1245 1246 1247 1248 1249 1250 1251 1252 1253 1254 1255 1256 1257 1258 1259 1260 1261 1262 1263 1264 1265 1266 1267 1268 1269 1270 1271 1272 1273 1274 1275 1276 1277 1278 1279 1280 1281 1282 1283 1284 1285 1286 1287 1288 1289 1290 1291 1292 1293 1294 1295 1296 1297 1298 1299 1300 1301 1302 1303 1304 1305 1306 1307 1308 1309 1310 1311 1312 1313 1314 1315 1316 1317 1318 1319 1320 1321 1322 1323 1324 1325 1326 1327 1328 1329 1330 1331 1332 1333 1334 1335 1336 1337 1338 1339 1340 1341 1342 1343 1344 1345 1346 1347 1348 1349 1350 1351 1352 1353 1354 1355 1356 1357 1358 1359 1360 1361 1362 1363 1364 1365 1366 1367 1368 1369 1370 1371 1372 1373 1374 1375 1376 1377 1378 1379 1380 1381 1382 1383 1384 1385 1386 1387 1388 1389 1390 1391 1392 1393 1394 1395 1396 1397 1398 1399 1400 1401 1402 1403 1404 1405 1406 1407 1408 1409 1410 1411 1412 1413 1414 1415 1416 1417 1418 1419 1420 1421 1422 1423 1424 1425 1426 1427 1428 1429 1430 1431 1432 1433 1434 1435 1436 1437 1438 1439 1440 1441 1442 1443 1444 1445 1446 1447 1448 1449 1450 1451 1452 1453 1454 1455 1456 1457 1458 1459 1460 1461 1462 1463 1464 1465 1466 1467 1468 1469 1470 1471 1472 1473 1474 1475 1476 1477 1478 1479 1480 1481 1482 1483 1484 1485 1486 1487 1488 1489 1490 1491 1492 1493 1494

こ 子 育 て 世 代 へ の 総 合 的 支 援	2-2	希望する保育施設に入所できる施策等の推進と保育の質の確保・向上	子 ど も 育 成 課	61	延長保育事業（時間外保育事業）	43			○	子ども育成課
				62	一時預かり事業（預かり保育・一時保育）	43			○	子ども育成課
				63	病児・病後児保育事業	44			○	子ども育成課
				64	希望する保育施設に入所できる施策の推進	44	●	◎	○	子ども育成課
				65	保育の質の維持・向上のための取組み	44	●	◎		子ども育成課
				66	保育に関する適正な費用負担のあり方の検討	45				子ども育成課
				67	指導検査の実施	45				子ども育成課
				68	リスクマネジメントへの取組み	45				子ども育成課
				69	保育アドバイザーによる巡回支援	45				子ども育成課
	2-3	地域子ども館事業の充実	児 童 青 少 年 課	70	放課後児童健全育成事業（学童クラブ）	46			○	児童青少年課
				71	地域子ども館あそべえ（放課後子供教室）の充実	47				児童青少年課
				72	地域子ども館こどもクラブ（学童クラブ）の充実	47				児童青少年課
				73	地域子ども館と関係機関の連携の推進	47				児童青少年課
				74	専門相談員による巡回相談の実施	47				児童青少年課
				75	地域子ども館の利用者や地域住民への周知の推進	47				児童青少年課
				76	民間学童クラブへの支援	47				児童青少年課
	2	安心して産み育てられる子育て世代への総合的支援	子 ど も 子 育 て 支 援 課	77	子どもの医療費助成の拡充	48	●	◎		子ども子育て支援課
				78	食育担当課連絡会議	50				健康課
				79	クックパッドによる食情報発信	50				健康課
				80	健康づくり支援センターにおける食育事業	50				健康課
				81	乳幼児歯科相談における食育の取組み	50				健康課
				82	乳幼児健康診査・発達相談における食育の取組み	50				健康課
				83	こうのとり学級における食育の取組み	51				健康課
				84	育児学級（離乳食教室）	51				健康課
				85	ゆりかごむさしのフェスティバルにおける食育の啓発	51				健康課
				86	保育施設等における子どもの食環境に関する啓発の推進	51				子ども育成課
				87	夏休み親子教室における食育の取組み	51				産業振興課
				88	野菜栽培体験学習事業	51				緑のまち推進課

て世代への総合的支援	2-6	子ども・子育て支援施設のあり方検討	子ども子育て支援課	89	子ども・子育て支援施設のあり方検討	53	●	◎		子ども子育て支援課
				90	市立保育園の役割・あり方の検討	53				子ども育成課
				91	市立保育園・子ども協会立保育園の改築・改修計画の推進	53				児童青少年課
				92	民間認可保育所の改築・改修への支援	53				子ども育成課
				93	桜堤児童館における子ども・子育て支援機能の充実	53				子ども育成課
				94	桜堤児童館の整備方針の検討	53				児童青少年課
				95	地域子ども館あそべえ・学童クラブの改築・改修計画の推進	53				児童青少年課
				96	地域子育て支援拠点施設のあり方の検討	54				子ども子育て支援課
				97	市立自然の村の保全及びキャビン更新の検討	54				児童青少年課
				98	地域子育て支援拠点施設における防災態勢の強化	54				子ども子育て支援課
				99	災害時等における保育所の役割の検討	54				子ども育成課
3 子どもと子育て家庭を地域社会全体で応援する施策の充実	3-1	まちぐるみで子どもと子育てを応援する事業の推進	子ども子育て支援課	100	まちぐるみで子どもと子育てを応援する事業の推進	55				子ども子育て支援課
				101	子ども・コミュニティ食堂との連携の推進	55				子ども子育て支援課
				102	世代間交流による地域のつながりと支え合いの推進	55				高齢者支援課
				103	ワーク・ライフ・バランスの取組みの推進	56				市民活動推進課
				104	こうのとりのベジタブル事業	56				子ども子育て支援課
				105	公共施設や民間施設のバリアフリー化の推進	56				産業振興課
				106	公園・緑地の新設と拡充	56				まちづくり推進課
	3-2	保育人材等の確保と育成	子ども育成課	107	保育人材等の確保・育成	57				緑のまち推進課
				108	学童クラブ支援員の人材確保・育成	57				子ども育成課
				109	子ども家庭支援センター相談員の確保・育成	59				児童青少年課
	3-3	子ども・子育てを支える地域の担い手の育成	児童青少年課	110	地域の子育て支援者の養成と活動を支える取組み	59				子ども子育て支援課
				111	青少年問題協議会地区委員会への市民の参加促進	59				子ども子育て支援課
				112	中学生・高校生リーダー制度の充実（次世代の担い手の育成）	59				児童青少年課
				113	ボランティアキャンペーン「ナツボラ」の実施	60				児童青少年課
	3-4	子どもに安全・安心なまちづくり	交通安全対策課	114	スポーツ指導者の育成	60				地域支援課
				115	様々なパトロール隊による通学路の見守りの推進	62				生涯学習スポーツ課
				116	子どもの安全を守る取組み	62				安全対策課
				117	交通安全施設の整備	62				児童青少年課
				118	自転車安全利用講習会・交通安全教室の実施	62				道路管理課
				119	公園遊具の安全性の確保	62				交通安全課
4-1	「生きる力」を育む幼児教育の振興	子ども育成課	子ども育成課	120	生きる力を育む幼児教育の振興	63	●	◎		緑のまち推進課
				121	私立幼稚園への支援	64				子ども育成課
				122	幼稚園・保育所・認定こども園・小学校等の連携強化	64				子ども育成課
				123	家庭や地域社会に向けた幼児教育等に関する情報の発信、共通理解の促進	64				子ども育成課
				124	むさしのブックスタート事業	64				子ども育成課
										図書館

4	4-2	青少年健全育成事業の 充実	児童 青少 年課	125	中学生・高校生の居場所の検討	66	●	◎		子ども子育て支援課
				126	円滑な社会生活・自立に向けた子ども・若者支援	66				児童青少年課
				127	青少年の自然体験事業の実施	66				生活福祉課
				128	むさしのジャンボリー事業の充実	66				児童青少年課
				129	青少年善行表彰事業の実施	66				児童青少年課
				130	中高生世代ワークショップ等の実施	66				児童青少年課
				131	中高生向けの消費者教育の充実	67				産業振興課
				132	子どもの人権を守る啓発活動の推進	67				市民活動推進課
				133	心のバリアフリーの推進	67				障害者福祉課
				134	子どもを取り巻く有害環境対策の推進	67				健康課
				135	平和啓発事業（子ども・青少年向け）の実施	67				市民活動推進課
				136	青少年を対象とした国際交流事業の充実	67				多文化共生・交流課
				137	武蔵野プレイスを活用した青少年支援事業の実施	67				生涯学習スポーツ課
	4-3	子どもの体験・学習機 会の充実	環境 政策 課・ 生涯 学習 スポ ーツ 課	138	環境啓発施設における子どもへの環境啓発の推進	69				環境政策課
				139	子どもや子育て家庭の健康の維持	69				生涯学習スポーツ課
				140	親子のふれあいの機会の提供	69				生涯学習スポーツ課
				141	子どもスポーツ事業の推進	69				生涯学習スポーツ課
				142	オリンピック・パラリンピックのレガシーとしてのスポーツ事業の推進	69				指導課
				143	学校教育との連携及び青少年への生涯学習機会の提供	69				生涯学習スポーツ課
				144	関連団体の専門性を活かした芸術・文化体験の支援	69				生涯学習スポーツ課
				145	生涯学習ネットワーク化の拡充	69				生涯学習スポーツ課
				146	スポーツ施設ネットワークの構築	70				生涯学習スポーツ課
				147	子ども読書活動推進事業の充実	70				図書館
				148	図書館による学校支援の推進	70				図書館
				149	環境展の実施	70				環境政策課
				150	むさしの環境フェスタの開催	70				環境政策課
				151	環境啓発冊子の配布	70				環境政策課
				152	子どもの自然体験学習の推進	70				緑のまち推進課
				153	夏休みごみ探検隊	70				ごみ総合対策課

4	子どもの「生きる力」を育む	4-4	全ての学びの基盤となる資質・能力の育成	指導課	154	英語教育の充実	72	●	◎		指導課
					155	言語活動の充実	72				指導課
					156	学校図書館の活用	72				指導課
					157	情報モラル教育の実施	72				指導課
					158	情報通信技術（ＩＣＴ）を活用した授業の推進	73				指導課
					159	論理的思考・プログラミング的思考の育成	73				指導課
					160	安全・安心な学校づくり	73				指導課
											教育支援課
					161	運動習慣の定着や体力向上、健康教育の取組み	73				指導課
					162	食育の推進	73				指導課
	4-5		多様性を認め合い市民性を育む教育	指導課	163	武蔵野市民科の実施	74	●	◎		指導課
					164	人権教育の推進	75				指導課
					165	道徳教育の推進	75				指導課
					166	キャリア教育の充実	75				指導課
					167	長期宿泊体験活動（セカンドスクール・プレセカンドスクール）の実施	75				指導課
	4-6		一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導・支援の充実	教育支援課	168	いじめの防止に向けた取組み	77				指導課
					169	特別支援教室（通級）の体制整備	77				教育支援課
					170	特別支援学級（固定学級）の今後のあり方の検討	77				教育支援課
					171	交流及び共同学習の推進	77				指導課
					172	帰国・外国人教育相談室による支援の充実	77				教育支援課
	4-7		不登校対策の推進と教育相談の充実	教育支援課	173	不登校児童生徒の多様な学びの場のあり方の検討と確保	78	●	◎		教育支援課
					174	スクールソーシャルワーカーと家庭と子どもの支援員の配置拡充	79				教育支援課
					175	切れ目のない相談支援体制づくり	79				教育支援課
5	教育環境の充実と学校施設の整備	5-1	教育力の向上をもたらす教職員の働き方の追求	指導課	176	武蔵野市立小中学校における働き方改革の推進	81	●	◎		指導課
					177	持続可能な部活動の実施に向けた取組み	81				指導課
		5-2	質の高い教育を維持するための人材の確保と育成	指導課	178	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた教員研修の実施	83				指導課
					179	学校運営の中核となる教員の育成	83				指導課
		5-3	学校と地域との協働体制の充実	指導課	180	学校・家庭・地域が目標を共有した学校協働体制の構築	85				指導課
					181	文化芸術活動の充実	85				指導課
					182	学校の福祉的機能の充実	85				教育支援課
		5-4	学校改築の着実な推進と安全・安心かつ適切な施設環境の確保	教教育支援課	183	学校改築の計画的な推進	87	●	◎		教育企画課
					184	新学校給食桜堤調理場の整備	87				教育支援課
					185	小学校校自校給食調理施設の整備	87				教育支援課
					186	児童増・災害・老朽化に対応した学校施設の改修	88				教育企画課
					187	ＩＣＴ化の推進	88				指導課

令和6年度子育て支援サービス等の実績

(第五次子どもプラン武蔵野 第4章別表1「計画期間における目標事業量(ニーズ量の見込みと確保方策)」関連)

	子育て支援サービス等	目標指数	令和元年度 実施事業量	令和2年度 実施事業量	令和3年度 実施事業量	令和4年度 実施事業量	令和5年度 実施事業量	令和6年度 実施事業量	令和6年度 目標事業量 (確保方策)
1	教育提供事業(1号認定子ども及び2号認定子どもで幼児期の学校教育利用の希望者等を対象)	定員数	2,296人 (利用実績 1,894人)	2,296人 (利用実績 1,876人)	2,296人 (利用実績 1,690人)	2,296人 (利用実績 1,601人)	2,296人 (利用実績 1,519人)	2,296人 (利用実績1,500人)	1,940人
2	保育提供事業(2号認定子ども等を対象、1の対象を除く。)	定員数	1,729人	1,918人	1,951人	1,965人	1,986人	1,973人	1,978人
			上記のうち 特定教育・保育施設 1,550人 (利用実績 1,494人)	上記のうち 特定教育・保育施設 1,767人 (利用実績 1,569人)	上記のうち 特定教育・保育施設 1,801人 (利用実績 1,684人)	上記のうち 特定教育・保育施設 1,833人 (利用実績 1,614人)	上記のうち 特定教育・保育施設 1,858人 (利用実績 1,594人)	上記のうち 特定教育・保育施設 1,858人 (利用実績 1,614人)	
			認可外保育施設 179人 (利用実績 117人)	認可外保育施設 151人 (利用実績 116人)	認可外保育施設 150人 (利用実績 129人)	認可外保育施設 132人 (利用実績 121人)	認可外保育施設 128人 (利用実績 107人)	認可外保育施設 117人 (利用実績 92人)	
3	保育提供事業(3号認定子ども等を対象)	定員数	1,755人	1,765人	1,752人	1,719人	1,720人	1,704人	1,780人
			上記のうち 特定教育・保育施設 1,259人 (利用実績 1,247人)	上記のうち 特定教育・保育施設 1,375人 (利用実績 1,346人)	上記のうち 特定教育・保育施設 1,399人 (利用実績 1,381人)	上記のうち 特定教育・保育施設 1,456人 (利用実績 1,410人)	上記のうち 特定教育・保育施設 1,463人 (利用実績 1,420人)	上記のうち 特定教育・保育施設等 1,462人 (利用実績 1,415人)	
			認可外保育施設 496人 (利用実績 344人)	認可外保育施設 390人 (利用実績 271人)	認可外保育施設 353人 (利用実績 271人)	認可外保育施設 263人 (利用実績 215人)	認可外保育施設 257人 (利用実績 189人)	認可外保育施設 246人 (利用実績 201人)	
4	時間外保育事業(延長保育事業)	利用可能施設数	29施設	34施設	35施設	37施設	37施設	38施設	33施設
5	放課後児童健全育成事業 (学童クラブ)	定員数(低学年)	1,280人 ※年度当初在籍者数 1,177人	1,320人 ※年度当初在籍者数 1,383人	1,399人 ※年度当初在籍数 1,454人	1,488人 ※年度当初在籍数 1,561人	1,500人 ※年度当初在籍数 1,568人	1,650人 ※年度当初在籍数 1,565人	1,370人
		定員数(高学年)	年度当初在籍者数 32人	33人	年度当初在籍者数 32人	年度当初在籍者数 40人	年度当初在籍者数 10人	年度当初在籍者数 12人	480人
6	子育て短期支援事業	利用可能者数 (延人日)	164人(利用実績)	130人	206人	730人日 (利用可能者数) 実績は172人	730人日 (利用可能者数) 実績は165人	730人日 (利用可能者数。 実績は179人)	730人日

	子育て支援サービス等		目標指数	令和元年度 実施事業量	令和２年度 実施事業量	令和３年度 実施事業量	令和４年度 実施事業量	令和５年度 実施事業量	令和６年度 実施事業量	令和６年度 目標事業量 (確保方策)
7	地域子育て支援拠点事業		設置か所数	8か所	8か所	8か所	8か所	9か所	9か所	11か所
8	一時預かり事業（幼稚園型）		利用可能者数 (延入日)	67,750人 (利用実績)	48,431人（想定）	61,491人 (利用実績)	66,902人 (利用実績)	69,918人 (利用実績)	77,418人 (利用実績)	68,000人日
9	一時預かり事業 (その他)	一時預かり (保育所)	利用可能者数 (延入日)	10,180人 (利用可能者数。 実績は5,765人)	10,180人 (利用可能者数) 実績は7,630人 (4～6月除く)	10,180人日 (利用可能者数。 実績は4,405人)	10,180人日 (利用可能者数。 実績は5,515人)	10,180人日 (利用可能者数。 実績は7,600人)	10,180人日 (利用可能者数。 実績は7,846人)	12,320人日
		一時預かり (すくすく泉)			1,137人	1,290人	1,708人日 (利用可能者数。 実績は1,148人)	1,708人日 (利用可能者数) 実績は1,536人	1,708人日 (利用可能者数) 実績は1,849人)	1,708人日
		ファミリー・サポ- ト・センター			1,381人	2,074人	1,601人 (利用実績)	1,836人 (利用実績)	1632人 (利用実績)	6,549人日
		(※) トワイライ トステイ			—	—	—	—	—	—
10	病児保育事業 (病児・病後児保育事業)		利用可能者数 (延入日)	3,840人 (利用可能者数。 実績は902人)	3,840人 (利用可能者数。 実績は187人)	3,840人 (利用可能者数。 実績は441人)	3,840人日 (利用可能者数。 実績は423人)	3,840人日 (利用可能者数。 実績は712人)	3,840人日 (利用可能者数。 実績は692人)	3,840人日
11	就学後の子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業)		利用可能者数 (延入日)	1,655人	568人	672人	910人 (利用実績)	955人 (利用実績)	994人 (利用実績)	1,988人日
12	利用者支援に関する事業 (利用者支援事業)	基本型・特定型	設置か所数	4か所	3か所	4か所	4か所	4か所	4か所	4か所
		母子保健型			1か所	2か所	2か所	2か所	2か所	1か所
13	妊婦に対して健康診査を実施する事業 (妊婦健診)		受診者数	1,159人	1,142人	1,140人	1,087人 (1回目受診人数)	1,043人 (1回目受診人数)	923人 (1回目受診人数)	1,180人
14	乳児家庭全戸訪問事業		訪問数	1,130人	1,031人	1,303人	1,293人 (訪問実績)	1,283人 (訪問実績)	1,237人 (訪問実績)	1,144人
15	養育支援訪問事業		訪問数	25人	22人	24人	24人	18人	16人	54人

第五次子どもプラン武蔵野 令和6年度施策実施状況 最終報告書

令和7年11月

編集・発行／武蔵野市子ども家庭部子ども子育て支援課

〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28

電話 0422-51-5131 内線2691

0422-60-1851（直通）